

のびゆくこどもプラン 小金井(第2期小金井市子ども・子育て支援事業計画)事業進捗状況評価表1

1 教育・保育施設

番号	区分	担当課	量の見込みと確保の内容	令和6年度進捗状況		令和7年度進捗状況		計画数(B)					確保策推進等についての考え方	
				実績数	進捗状況の説明	実績数 A	(実績数 －計画数) A-B	進捗状況の説明 (確保策推進等についての考え方 に照らし、進捗状況や、実績数と 計画数との乖離理由等について 記載のこと)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		令和6年度
1	1号認定 (満3歳以上、幼稚園を利用希望)	保育課	1 必要利用定員総数	1,424	私立幼稚園利用者の総数が減少しており、また約4割の利用者が市外の幼稚園に通園している状況は変わっていない。引き続き、既存園の意向を尊重しながら、認定こども園等への移行への対応ができるよう検討を進めていく。	1,415	△ 187	私立幼稚園利用者の総数が減少しており、また約4割の利用者が市外の幼稚園に通園している状況は変わっていない。引き続き、既存園の意向を尊重しながら、認定こども園等への移行への対応ができるよう検討を進めていく。	1,601	1,577	1,636	1,602	1,530	小金井市における私立幼稚園、国立大学附属幼稚園、認定こども園(幼稚園分)の定員数の合計は1,164人となっています。幼稚園は、居住する市区町村以外に所在する園への通園が可能であり、子ども・子育て支援に関するニーズ調査にもあるように、市内の未就学児童の多くが市外の幼稚園に通園しています。今後は、認定こども園の新設や、既存の幼稚園・保育施設が認定こども園へ移行を希望する場合の受入れ体制づくりを進め、円滑な認定こども園への移行により幼稚園の利用ニーズに対応します。また、現状よりも多くの児童が地域の施設に通園できる体制を整えるとともに、既存の幼稚園に対する認定こども園制度に関する情報提供・周知に努めます。さらに、幼稚園利用ニーズに対する更なる対応や、幼児教育・保育の無償化の開始に伴い、今まで以上に幼稚園と市との連携を進めていく必要もあります。私立幼稚園協会等との情報提供・交換による相互理解、幼稚園各園の共通した課題等に対する支援を行うことにより、教育・保育の総合的な質の維持、向上を図っていきます。
			幼児期の学校教育の利用希望が強い	189		180	16		163	161	167	164	156	
			上記以外	1,235		1,235	△ 203		1,438	1,416	1,469	1,438	1,374	
			2 確保の内容	1,424		1,415	△ 187		1,601	1,577	1,636	1,602	1,530	
			特定教育・保育施設	189		180	36		144	144	144	144	183	
			確認を受けない幼稚園	800		800	△ 220		1,020	1,020	1,020	1,020	1,020	
			市外の幼稚園	435		435	△ 3		437	413	472	438	327	
			過不足(2-1)	0		0	0		0	0	0	0	0	
			2	2号認定 (満3歳以上、保育所を利用希望)		保育課	1 必要利用定員総数		1,858	待機児童の解消に向けて、施設整備等の定員の確保に努めており、令和6年4月現在の待機児童数は0名となった。申込者の多くが特定教育・保育施設への入所を希望している状況ではあるが、今後は定員適正化についても検討していく。	1,887	124	前年度まで待機児童数は0名が続いていたが、前年度から申請者が大幅に増加し、令和7年4月現在の待機児童数は6名となった。未就学児の人口減少が見込まれる中、定員の適正化が課題となる。	
2 確保の内容	2,262	2,308			93		1,802	2,027	2,215		2,215	2,260		
特定教育・保育施設	2,163	2,226			64		1,679	1,904	2,162		2,162	2,207		
地域型保育事業	0	0			0		0	0	0		0	0		
認可外保育施設	99	82			29		123	123	53		53	53		
過不足(2-1)	404	421			△ 31		256	506	497		452	496		
		244			△ 80		374	374	311		324	339		
		337			△ 37		355	385	374		374	380		
3	3号認定 (0歳)	保育課	1 必要利用定員総数	256					45	45	19	19	19	
			2 確保の内容	351					△ 19	11	63	50	41	
			特定教育・保育施設	287					32.0%	34.8%	38.8%	38.8%	39.4%	
			地域型保育事業	32					1,312	1,356	1,238	1,230	1,300	
			認可外保育施設	32					1,236	1,371	1,369	1,369	1,399	
			過不足(2-1)	95					931	1,066	1,207	1,207	1,237	
			保育利用率	40.3%					95	95	99	99	99	
									210	210	63	63	63	
4	3号認定 (1・2歳)	保育課	1 必要利用定員総数	1,289		1,307	77							
			2 確保の内容	1,397		1,383	14							
			特定教育・保育施設	1,196		1,173	△ 34							
			地域型保育事業	77		86	△ 13							
			認可外保育施設	124		124	61							
			過不足(2-1)	108		76	△ 63							
			保育利用率	76.0%		75.1%	0							

のびゆくこどもプラン 小金井(第2期小金井市子ども・子育て支援事業計画)事業進捗状況評価表2

2 地域子ども・子育て支援事業

番号	事業名称	担当課	対象	事業の内容	量の見込みと確保の内容	令和5年度進捗状況		令和6年度進捗状況		計画数					確保策推進等についての考え方	
						実績数	進捗状況の説明 (確保策推進等についての考え方 に照らし、進捗状況等について記載のこと)	実績数	進捗状況の説明 (確保策推進等についての考え方 に照らし、進捗状況等について記載のこと)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
1	利用者支援事業 [基本型]	こども家庭センター	未就学児童	子どもや保護者の身近な場所で、教育・保育施設や地域の子育て支援事業等の情報提供及び相談・助言等を行うとともに、関係機関との連絡調整等を実施する事業	実施か所数(か所)			1	令和6年9月、こども家庭センター親子あそびひろば「ゆりかご」を、市内で1か所目の地域子育て相談機関として指定し、相談事業を開始した。事業の開始にあたり、国・都の事業補助を活用し、専任の地域子育て利用者支援専門員を配置した。						1	現在、利用者支援事業に含まれる地域連携機能については、子ども家庭支援センターにおいて子どもと家庭に関するあらゆる相談に応じるとともに、子育てに関する情報提供や関係機関との連携、調整を行っています。妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援の充実を図るため、(仮称)新福祉会館移設に合わせ子ども家庭支援センターに利用者支援専門員を配置し、子育てに関する情報提供や相談に応じます。また、関係機関との連携やひろばの拠点として地域の子育て支援機関と連携し、妊娠期から切れ目なく支援します。
	利用者支援事業 [特定型]	保育課	未就学児童	子どもや保護者が、幼稚園・保育所での教育・保育や、一時預かり等の中から適切なものを選択し円滑に利用できるよう、個々のニーズを把握し情報提供や相談を含めた支援を行う事業	実施か所数(か所)	1	引き続き保育所等入所相談支援員(2名)を配置し、窓口・電話での保育相談に対応している。令和6年4月入所の申請件数は815件であり、例年と比べると減少しているが依然として保育希望者からの相談・問合せは多い。ニーズに合わせた保育サービスの情報提供や、関係機関との連携を行うため、引き続き相談支援の質の向上が必要である。	1	引き続き保育所等入所相談支援員(2名)を配置し、窓口・電話での保育相談に対応している。令和7年4月入所の申請件数は811件であり、例年と比べると減少しているが依然として保育希望者からの相談・問合せは多い。ニーズに合わせた保育サービスの情報提供や、関係機関との連携を行うため、引き続き相談支援の質の向上が必要である。	1	1	1	1	1	1	多様化する保育ニーズに対応し、様々な保育サービス、子育て支援等に関する情報提供や相談等を行うため、保育所申請窓口には保育所等入所相談支援員を配置し、平成26年度から実施をしています。利用者支援事業については、今後も引き続き、保育所等入所相談支援員により、主に教育・保育サービスに関する利用者支援の窓口として実施していきます。また、相談の中で把握された育児、発達等の支援を必要とする家庭に対しては、各機関へのガイド役として相談に応じていきます。
	利用者支援事業 [こども家庭センター型]	こども家庭センター	妊産婦等	妊婦の健康の保持・増進のほか、出産・子育てに対する不安の軽減を図ることで、安心して出産を迎えられるように、全ての妊婦に対し面接を行い、必要に応じて情報提供や相談を含めた支援を行う事業	実施か所数(か所)	1	R5.3月から出産・子育て応援事業が開始し、妊婦面談を実施した方へ、昨年度から引き続き実施している育児パッケージ(1万円)と併せてギフト券(5万円)を配布している。面談希望者は、今年度は面談率103.7%と増加した。	1	R5.3月から出産・子育て応援事業が開始し、妊婦面談を実施した方へ、昨年度から引き続き実施している育児パッケージ(1万円)と併せてギフト券(5万円)を配布している。妊婦面談実施率は94.5%であった。面談未実施の方には電話相談等を実施し、丁寧に対応している。	1	1	1	1	1	1	妊娠届提出時に配布している母子バック等で面接を周知し、予約制にて保健センター等で面接を実施します。また、来所して面接することが困難な妊婦には、電話や訪問による相談支援を行います。妊娠期から、保健師等の専門職が関わることにより、妊婦の健康の保持・増進や育児に関する不安の軽減を図るとともに、母子保健サービスの選定や各種情報提供を行います。また、必要に応じて支援プランを作成し、関係機関と協力して定期的な支援を行うことで、全ての妊婦を妊娠期から支援することで、安心して出産・子育て期を過ごすことができるよう支援します。
2	延長保育事業(時間外保育)	保育課	未就学児童	保育所在園児を対象に、保護者の就労等の事情により、通常保育時間を超えて保育を実施する事業	量の見込み(人)					1,031	1,168	1,321	1,321	1,321	認可保育所全園で延長保育を実施しており、保育所在園児の18時以降の保育ニーズに対応しています。延長時間は、公立保育所は19時まで、私立保育所は各園により19時から20時の間で時間が異なります。既設の保育施設において継続的な実施体制の維持を図るとともに、新規に設置される施設と連携しながら、事業を実施していきます。また、保護者の就労状況等を踏まえながら、19時以降の延長についても検討していきます。	
					確保の内容(人)	934	公立保育園5園、私立保育園等39園で18時以降の延長保育を実施した。	963	公立保育園5園、私立保育園等39園で18時以降の延長保育を実施した。	1,031	1,168	1,321	1,321	1,321		

のびゆくこどもプラン 小金井(第2期小金井市子ども・子育て支援事業計画)事業進捗状況評価表2

番号	事業名称	担当課	対象	事業の内容	量の見込みと確保の内容	令和5年度進捗状況		令和6年度進捗状況		計画数					確保策推進等についての考え方
						実績数	進捗状況の説明 (確保策推進等についての考え方に照らし、進捗状況等について記載のこと)	実績数	進捗状況の説明 (確保策推進等についての考え方に照らし、進捗状況等について記載のこと)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
3	放課後児童健全育成事業(学童保育)	児童青少年課	就学児童のうち、小学校1年生～3年生(障がいのある児童は小学校4年生まで)	保護者が就労等により昼間家庭にいない小学校就学児童に対し、授業の終了後等に適切な遊びや生活の場を与えて、児童の健全育成を図る事業	【低学年】 量の見込み(人)					1,198	1,292	1,431	1,552	1,634	小金井市では、学童保育所を小学校区ごとに設置しています。現在、多くの学童保育所が定員の超過状態にあり、大規模化への対応が課題となっています。小学校1年生から3年生(障がいのある児童は小学校4年生)までの低学年児童のみを受け入れている現状においても、既に定員超過状態にある一方、計画期間中において低学年の量の見込みは約2割増加する見込みです。そこで、定員確保については、低学年児童の受け入れを最優先して行うこととし、高学年児童の受け入れについては今後の課題とします。なお、高学年児童の放課後の居場所については、放課後子ども教室事業や児童館事業等を活用する他、子どもの放課後の過ごし方の課題として検討していきます。今後の学童保育所の運営・整備に当たっては、児童の安全性、保育の質の確保等を踏まえ、学校施設内の施設併用利用や民間施設の活用及び民設民営を推進するなど緊急対応の必要なところから優先的に保育環境の整備を進めます。また、運営にあたっては、サービスの向上を目的とした開所時間のさらなる延長並びに障がいのある児童の受入学年の拡大等、放課後児童健全育成事業に求められる役割の向上等についても、市民ニーズ等を踏まえ、検討します。
					1年生					469	439	563	596	596	
					2年生					398	425	437	486	514	
					3年生					331	428	431	470	524	
					【低学年】 確保の内容(人)	1,120	本市では入所受付期間内の申請は入所要件を満たす限り、全員の入所を承認しており、令和5年4月1日現在の入所児童数は1,525人であった。入所希望者が増加し、狭隘化している学童のうち、令和2年度には学校施設を活用し、たまむし暫定第3学童保育所を開設した。同様に令和3年度にさくらなみ・まえはら・みどり学童保育所に暫定第3学童保育所を開設し、令和4年度にはみなみ学童保育所に暫定第3学童保育所を開設した。	1,160	本市では入所受付期間内の申請は入所要件を満たす限り、全員の入所を承認しており、令和6年4月1日現在の入所児童数は1,618人(うち民設民営学童保育所入所児童は34人)であった。需要が増加している入所希望者に対応するため、令和6年度には民設民営学童保育所施設整備事業費補助金を活用した民設民営学童保育所として、「メガロス東小金井学童クラブ」が開所した。	960	1,040	1,120	1,240	1,320	
	放課後子ども教室事業	生涯学習課	就学児童	放課後の学校施設を利用して、子どもたちが安全に遊べる場所を提供し、多彩なプログラムを実施しています。小学校全学年を対象とし、保護者の就労に関わらず利用できる事業	開催回数(回)	1,566	放課後子ども教室の運営・実施を行うことで子どもたちの心豊かで健やかに育まれる環境づくりを行った。参加人数は122,670人であり、有償スタッフは8,763人、無償ボランティアスタッフは116人となった。週に5回の開催校が8校まで増えた。	1,541	放課後子ども教室の運営・実施を行うことで子どもたちの心豊かで健やかに育まれる環境づくりを行った。参加人数は131,909人であり、有償スタッフは9,146人、無償ボランティアスタッフは87人となった。週に5回の開催校が9校まで増え、すべての学校での実施となった。	1,200	1,300	1,400	1,500	1,500	放課後子どもプラン運営委員会、小学校ごとに教育委員会が委嘱するコーディネーター、放課後子どもプラン協議会及び学習アドバイザー等の地域住民の方々の協力等も得ながら、子どもたちの安全・安心な居場所を確保するため、学校開校日における月曜日から金曜日までの放課後子ども教室全日開催を目指し、開催回数の充実を図ります。また、特別な配慮を要する児童への対応には、スタッフを増やすなどの必要な措置を行います。
	新・放課後子ども総合プランに基づく両事業の連携について	児童青少年課、生涯学習課					前年度同様、放課後子ども総合プラン協議会を全9校で開催する予定であったが関係者及び各課のスケジュールの都合が合わなかったため、開催は断念された。しかしながら引き続き、開催場所や開催時間の検討を行った。		放課後子ども総合プラン協議会を南小学校で開催した。学校関係者、児童青少年課、生涯学習課、放課後子ども教室コーディネーターが参加し、情報の共有や開催場所、開催時間等を含めた放課後の子どもの居場所に関する今後の課題について検討を行った。その他、学童の利用状況により、関係者への相談調整等を行った。						小金井市では、令和元年度までに全小学校区(一体型を6校、連携型を3校)で放課後子どもプラン協議会を設置しています。協議会では、共通プログラムと学校施設の活用に関すること、及び放課後の子どもの居場所に関する情報共有について協議し、放課後子ども教室共通プログラムの企画段階から、学童保育所の指導員と放課後子ども教室のコーディネーターが連携して内容等を検討します。合わせて、連携型で共通プログラムを実施する場合は、プログラム終了後に安全に児童が移動できるよう、両事業担当者の連絡、情報交換を密にします。また、放課後子どもプランの担当者が個別に各小学校を訪問し、学校関係者と話し合う機会を持ち、特別教室、体育館、校庭、図書室等学校施設の一時利用を促進します。教育委員会と子ども家庭部の連携のため、総合教育会議を活用し、総合的な放課後対策について協議をします。

のびゆくこどもプラン 小金井(第2期小金井市子ども・子育て支援事業計画)事業進捗状況評価表2

番号	事業名称	担当課	対象	事業の内容	量の見込みと確保の内容	令和5年度進捗状況		令和6年度進捗状況		計画数					確保策推進等についての考え方	
						実績数	進捗状況の説明 (確保策推進等についての考え方 に照らし、進捗状況等について記載のこと)	実績数	進捗状況の説明 (確保策推進等についての考え方 に照らし、進捗状況等について記載のこと)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
4	子育て短期支援事業 (ショートステイ)	こども家庭センター	未就学児童・就学児童	保護者の疾病等の理由により家庭において養育を受けることが一時的に困難となった児童について、児童養護施設等において、必要な保護を行う事業	量の見込み(人/年)					626	628	627	629	636	2歳から中学校就学前までの児童を対象に、定員2名で事業を実施しています。現在の事業実施体制でも量の見込みを受入れることは可能となっているため、事業を継続して実施していきます。 子ども・子育て支援に関するニーズ調査において、0歳、1歳児の利用ニーズが認められます。受入れ施設の体制等も含めて、今後研究していきます。	
					確保の内容(人/年)	730	育児疲れ等による利用希望が一定量あり、児童虐待対応の側面も持つ事業である。令和5年度は延13人15泊の利用があった。子育て家庭を支える事業であるため、今後も継続実施する。	730	育児疲れ等による利用希望が一定量あり、児童虐待対応の側面も持つ事業である。令和6年度は延40人65泊の利用があった。子育て家庭を支える事業であるため、今後も継続実施する。	730	730	730	730	730		
5	乳児家庭全戸訪問事業 (こんにちは赤ちゃん事業)	こども家庭センター	0歳	生後4か月までの乳児のいる全ての家庭を訪問し、子育てに関する情報提供、乳児及びその保護者の心身の状況及び養育環境の把握を行うほか、養育についての相談に応じ、助言その他の援助を行う事業	量の見込み(人)					1,323	1,321	1,321	1,316	1,328	出生後提出される「赤ちゃん連絡票(出生通知)」に基づき訪問を行っています。様々な事情により連絡票が未提出となっている家庭に対しても、電話や直接訪問、不在連絡票の投函等の対応を行い、訪問の勧奨を行う等、全ての家庭へ訪問する体制を整えています。現在の事業実施体制でも量の見込みを受入れることは可能となっているため、事業を継続して実施していきます。	
					確保の内容(人)	871	令和5年度の実訪問人数は778人、延べ訪問数は871人であった。令和5年度の赤ちゃん連絡票届け出数は885人であり、令和5年度の新生児訪問率は87.9%となった(実人数)。※各家庭の状況に鑑み、必要に応じて複数回訪問実施。	941	令和6年度の実訪問人数は889人、延べ訪問数は941人であった。令和6年度の赤ちゃん連絡票届け出数は907人であり、令和6年度の新生児訪問率は98.0%となった(実人数)。※各家庭の状況に鑑み、必要に応じて複数回訪問実施。	1,328	1,328	1,328	1,328	1,328		
										実施体制：市保健師及び委託で実施 実施機関：健康課(保健センター) 委託団体等：母子保健推進員(保健師、助産師有資格者等)						
6	養育支援訪問事業	こども家庭センター	要支援児童、特定妊婦、要保護児童	養育支援が特に必要な家庭に対して、その居宅を訪問し、養育に関する指導・助言等を行うことにより、当該家庭の適切な養育の実施を確保する事業	量の見込み(人)					17	17	17	17	17	乳児家庭全戸訪問事業、関係機関からの通告や個々のケースワークを通して把握される養育支援が特に必要な家庭に対して、子ども家庭支援センターがその必要性等を判断し派遣しています。現在、必要性が認められた家庭に対しては全件派遣を実施しています。現在の事業実施体制でも量の見込みを受入れることは可能となっているため、事業を継続して実施していきます。 様々な問題を抱えた家庭に対する事業であるため、相談支援、育児家事援助の質が保たれるよう、訪問支援者に対する研修(年1回)の実施、育児家事援助を行うヘルパー派遣事業所との定期的な連絡会(年2回)の開催を継続して実施し、連携を図っていきます。	
					確保の内容(人)	7	支援が必要な家庭にヘルパー派遣・専門相談を実施した。また訪問支援者研修や派遣事業所との連絡会を開催し、質の向上及び連携を図った。	7	支援が必要な家庭にヘルパー派遣・専門相談を実施した。児童福祉法改正により令和6年度からヘルパー派遣の部分については新設した子育て世帯訪問支援事業で実施している。	17	17	17	17	17		
										実施体制：子ども家庭支援センター及び委託で実施 実施機関：子育て支援課(子ども家庭支援センター) 委託団体等：ヘルパー派遣事業所(5事業所)						

のびゆくこどもプラン 小金井(第2期小金井市子ども・子育て支援事業計画)事業進捗状況評価表2

番号	事業名称	担当課	対象	事業の内容	量の見込みと確保の内容	令和5年度進捗状況		令和6年度進捗状況		計画数					確保策推進等についての考え方
						実績数	進捗状況の説明 (確保策推進等についての考え方 に照らし、進捗状況等について記載のこと)	実績数	進捗状況の説明 (確保策推進等についての考え方 に照らし、進捗状況等について記載のこと)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
7	地域子育て支援拠点事業	児童青少年課、こども家庭センター	未就学児童及びその保護者	乳幼児及びその保護者が相互の交流を行う居場所を開設し、子育てについての相談、情報提供等を行う事業	量の見込み(人/月)					5,995	6,124	6,157	6,146	6,157	現在、国の法定事業として、児童館4館での子育てひろばと、子ども家庭支援センターでの親子遊びひろばにより事業を実施しています。しかしながら、量の見込みは現在の提供体制を上回っています。 また、法定事業以外の独自の取組として、学童保育所で市の独自事業として実施しているひろば事業や、市内の各認可保育園においても子育て中の親子の交流や育児相談等を実施しています。 今後は、これらの地域子育て支援拠点となる事業を引き続き展開するとともに、市内各所に地域の子育て支援の拠点となるひろばを整備することにより、保護者が子どもを連れて容易に利用できるよう、利便性の向上も図っていきます。
					確保の内容(人/月)	2,978		3,233		3,950	3,950	3,950	3,950	3,950	
					確保の内容(か所)	5		5		5	5	5	5	5	
					児童館の子育てひろば事業(人/月)	1,512	児童館全館で子育てひろばを開設。 また、学童保育所において開設しているひろば事業では年間4,611人(月平均461人)の利用があった。	1,493	児童館全館で子育てひろばを開設。 また、学童保育所において開設しているひろば事業では年間5,446人(月平均545人)の利用があった。	1,892	1,892	1,892	1,892	1,892	
					児童館の子育てひろば事業(か所)	4		4		4	4	4	4	4	
					こども家庭センターの親子遊びひろば事業(人/月)	1,466	月平均1,466名の親子が来所。新型コロナウイルス感染症感染防止対策として行っていた入場制限の緩和に伴い利用者数が徐々に戻りつつある。引き続き、感染防止対策に努めながら、事業を実施していく。	1,740	月平均1,740名の親子が来所。年々利用者が増加しており多くの利用者に子育て相談や情報提供が行えている。引き続き、感染防止対策に努めながら、事業を実施していく。	2,058	2,058	2,058	2,058	2,058	
					こども家庭センターの親子遊びひろば事業(か所)	1		1		1	1	1	1	1	

のびゆくこどもプラン 小金井(第2期小金井市子ども・子育て支援事業計画)事業進捗状況評価表2

番号	事業名称	担当課	対象	事業の内容	量の見込みと確保の内容	令和5年度進捗状況		令和6年度進捗状況		計画数					確保策推進等についての考え方	
						実績数	進捗状況の説明 (確保策推進等についての考え方 に照らし、進捗状況等について記載のこと)	実績数	進捗状況の説明 (確保策推進等についての考え方 に照らし、進捗状況等について記載のこと)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
8	一時預かり事業	保育課 こども家庭センター	①幼稚園在園児 ②在園児以外は未就学児童	家庭において保育を受けることが一時的に困難となった児童について、保育所等において児童を一時的に預かる事業	①幼稚園等における一時預かり										市内幼稚園等6園で預かり保育が実施されています。共働き世帯の増加により2号認定(保育の必要性あり)が見込まれる児童の幼稚園(幼児期の学校教育)希望が一定程度見込まれ、一時預かり事業の量の見込みが実績を上回っています。市内幼稚園の教育方針や運営体制を尊重しながら、連携を取り確保していきます。また、市外の幼稚園利用児童についても、各園での預かり保育の実施状況に基づき利用ニーズに対応していきます。	
					量の見込み合計(人日/年)					48,974	47,213	49,054	48,001	45,881		
										9,325	9,177	9,534	9,329	8,917		
										39,649	38,036	39,520	38,672	36,964		
					確保の内容(人日/年)	17,869	一時預かり(平日実施5園) 16,376人/年 一時預かり(長期休業日実施3園)1,493人/年	17,869	一時預かり(平日実施5園) 16,376人/年 一時預かり(長期休業日実施3園)1,493人/年	17,869	17,869	17,869	17,869	17,869		
					②保育園等における一時預かり											現在、認可保育所13園、定期利用保育事業を実施する保育室、ファミリー・サポート・センターにおいて一時預かりのニーズに対応しています。特に民間の認可保育所においては、新規開設や既存施設の改修にあわせて、待機児童対策の一環として東京都が実施する独自の一時預かり事業(余裕活用型など)も実施しています。 一方では、一時保育を利用したいが混雑していて予約が取れない、一時預かりの予約が取りづらいとの声が寄せられています。様々な理由によるニーズに対応できるよう、定期利用型に加え、私的、緊急一時預かりなども実施していますが、限られた提供体制の中、さらなる充実が求められています。 今後も引き続き認可保育所の開設等にあわせて、現状の提供体制の拡充をめざしていきます。 ファミリー・サポート・センター事業は多様なニーズへの対応が必要であり、多くの協力会員を確保していく必要があります。今後も引き続き研修等を通して質の高い協力会員の確保を進めるとともに、依頼会員に対する協力会員登録の働きかけ等を通して、「相互援助組織」としての更なる活性化を図っていきます。 トワイライトステイ事業は、事業を実施するに至っていません。衛生・安全面に配慮しつつ受入施設を幅広く捉え、保護者のニーズ等を見極め規模・内容を含め実施に向け、引き続き検討します。
					量の見込み(人日/年)					34,408	34,503	33,380	32,470	31,855		
					確保の内容(人日/年)	13,020		11,892		33,170	33,179	33,177	34,085	34,121		
					保育園の一時預かり(在園児対象型以外)	8,775	(実績ベース) 緊急一時 331人/年 非定型的 461人/年 私的理由 3259人/年 定期利用 4431人/年 保育室 293人/年	7,165	(実績ベース) 緊急一時 508人/年 非定型的 106人/年 私的理由 3247人/年 定期利用 3304人/年	30,025	30,025	30,025	30,025	30,025		
					子育て援助活動支援事業(ファミリー・サポート・センター)	4,245	新型コロナウイルス感染症流行の対応が一定落ち着き、今年度は大きく増加した。保護者の様々なニーズに対応し、引き続き協力会員の確保に努めていく。	4,705	核家族化、共働き家庭が増えている背景がある中、利用者が年々増加しており、非常にニーズの高い事業である。保護者の様々なニーズに対応し、引き続き協力会員の確保に努めていく。	3,145	3,154	3,152	3,160	3,196		
					子育て短期支援事業(トワイライトステイ)	0	令和6年度開始に向けて検討中	22	令和6年度7月から登録受付、9月から預かりを開始し、保護者の就労や育児疲れ等に対応している。	0	0	0	0	900		

のびゆくこどもプラン 小金井(第2期小金井市子ども・子育て支援事業計画)事業進捗状況評価表2

番号	事業名称	担当課	対象	事業の内容	量の見込みと確保の内容	令和5年度進捗状況		令和6年度進捗状況		計画数					確保策推進等についての考え方	
						実績数	進捗状況の説明 (確保策推進等についての考え方 に照らし、進捗状況等について記載のこと)	実績数	進捗状況の説明 (確保策推進等についての考え方 に照らし、進捗状況等について記載のこと)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
9	病児保育事業、子育て援助活動支援事業(病児・緊急対応強化事業)	保育課 こども家庭センター	未就学児童	児童が病気の回復期に至らない場合で当面の症状の急変が認められない場合、又は、病気の回復期で集団保育が困難な場合で、保護者の勤務等の都合により家庭で保育を行うことが困難な場合、病院・保育所等に付設された専用スペース等で、一時的に保育する事業	量の見込み(人日/年)					3,681	3,692	3,573	3,475	3,410	現在、病児・病後児保育室2施設、病後児保育室及び認可保育所における体調不良児対応型を各1施設、保育所等に入所している児童を対象に実施しています。近年は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響もあり、利用数が少ない施設もあるものの、子ども・子育て支援に関するニーズ調査では多くの利用希望が把握されています。今後の運営状況を踏まえつつ、定員又は施設の拡充等を検討します。また、「対象者の拡大」「ファミリー・サポート・センター事業における病児・緊急対応強化事業」については、必要性や体制の整備について研究をしていきます。	
				確保の内容(人日/年)	3,502			2,430			2,496	3,476	3,476	3,476		3,476
				病児保育事業	3,502	病後児保育(1か所) 受託実績 17人／年 病児保育(3か所) 受託実績 933人／年		2,430	病後児保育 R5末に事業廃止 病児保育(3か所) 受託実績 944人／年		2,496	3,476	3,476	3,476		3,476
				子育て援助活動支援事業(ファミリー・サポート・センターなど)	0	現時点では未実施		0	現時点では未実施		0	0	0	0		0
10	子育て援助活動支援事業(ファミリー・サポート・センター、就学後含む。)	こども家庭センター	就学児童	児童を有する子育て中の保護者を会員として、児童の預かり等の援助を受けることを希望する者と当該援助を行うことを希望する者との相互援助活動に関する連絡、調整を行う事業	量の見込み(人日/年)					1,687	1,699	1,761	1,792	1,875	会員数、活動件数ともに増加傾向にあります。多様なニーズへの対応が必要であり、多くの協力会員を確保していく必要があります。今後も引き続き研修等を通して質の高い協力会員の確保を進めるとともに、依頼会員への協力会員登録への働きかけ等を行います。また、毎月開催している登録説明会も保護者の出席しやすい体制を検討し、「相互援助組織」としての更なる活性化を図っていきます。	
				【低学年】量の見込み					1,185	1,193	1,237	1,259	1,317			
				【高学年】量の見込み					502	506	524	533	558			
				確保の内容(人日/年)	1,084	利用者は例年よりやや増加で推移している。保護者の働き方によって利用者数増減はあるものの、様々な理由でニーズの高い事業である。引き続き協力会員の確保に努める。		1,209	核家族化、共働き家庭が増えている背景がある中、利用者が年々増加しており、非常にニーズの高い事業である。保護者の様々なニーズに対応し、引き続き協力会員の確保に努めていく。		1,687	1,699	1,761	1,792		1,875
11	妊婦健診事業	こども家庭センター		妊婦の健康の保持及び増進を図るため、妊婦に対する健康診査として、①健康状態の把握、②検査計測、③保健指導を実施するとともに、妊娠期間中の適時に必要に応じた医学的検査を実施する事業	量の見込み(人)					1,180	1,178	1,178	1,174	1,184	現在、全ての妊婦を対象に妊婦健診を実施しています。現在の事業実施体制でも量の見込みを受入れることは可能となっているため、事業を継続して実施していきます。	
				確保の内容(人)	858	妊婦健康診査1回目858人 妊婦健康診査2回目以降9,406人 超音波検査991人 子宮頸がん検診837人 里帰り等妊婦健康診査助成申請者145人 里帰り等超音波検査助成申請者14人 里帰り等子宮頸がん検診助成申請者8人		877	妊婦健康診査1回目877人 妊婦健康診査2回目以降8,897人 超音波検査3071人 子宮頸がん検診849人 里帰り等妊婦健康診査助成申請者138人 里帰り等超音波検査助成申請者29人 里帰り等子宮頸がん検診助成申請者7人		1,184	1,184	1,184	1,184		1,184
									実施場所：都内契約医療機関(助産院、都外医療機関で受診の場合は現金給付) 検査項目：計14回、現在の検査項目を引き続き実施 妊婦超音波検査 妊婦子宮頸がん検診							

のびゆくこどもプラン 小金井(第2期小金井市子ども・子育て支援事業計画)事業進捗状況評価表2

番号	事業名称	担当課	対象	事業の内容	量の見込みと確保の内容										確保策推進等についての考え方
						令和5年度進捗状況		令和6年度進捗状況		計画数					
						実績数	進捗状況の説明 (確保策推進等についての考え方 に照らし、進捗状況等について記載のこと)	実績数	進捗状況の説明 (確保策推進等についての考え方 に照らし、進捗状況等について記載のこと)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
12	実費徴収に係る補足給付を行う事業(世帯の所得の状況等を勘案して物品購入に要する費用等の全部又は一部を助成する事業)	保育課	未就学児童	各施設において実費徴収を行うことができることとされている、①食事の提供に関する費用及び②日用品、文房具等の購入に要する費用等について、低所得世帯等を対象に費用の一部を補助する事業	確保の内容	実施	昨年に引き続き、新制度未移行幼稚園の在籍児童を含む未就学児童の給食副食費等の補助を行った。 令和5年度実績 44人/年	実施	昨年に引き続き、新制度未移行幼稚園の在籍児童を含む未就学児童の給食副食費等の補助を行った。 令和6年度実績 38人/年	実施	実施	実施	実施	実施	国の検討状況、都や他自治体の動向を踏まえて、対象者に対して助成します。
13	多様な主体が本制度に参入することを促進するための事業	保育課		特定教育・保育施設等への民間事業者の参入の促進に関する調査研究その他多様な事業者の能力を活用した特定教育・保育施設等の設置又は運営を促進するための事業										市内には私立の幼稚園、認可・認可外保育施設が数多く存在し、各事業者の特色に基づいた教育・保育が提供されています。教育・保育施設の充実が喫緊の課題となっています。子ども・子育て支援新制度において地域型保育事業が新たに創設される等、多様なニーズに基づいた施設の設置が可能となりました。現状に引き続き新規の施設設置に対するバックアップを行うとともに、国や都の状況を踏まえて実施を含めて内容を検討します。	

のびゆくこどもプラン 小金井(第2期小金井市子ども・子育て支援事業計画)事業進捗状況評価表3

目標1 子どもの安心・安全を守ります

1-1. 子どもの権利を守るための相談及び救済窓口を充実します

番号	事業名称 (担当課)	事業の内容	参考指標	実績	計画(年度)/実績(数値があるもののみ)					結果(年度)	
				H30	R2	R3	R4	R5	R6	R6	
1	子どもオンブズパーソン (児童青少年課) ＜重点事業＞	子どもの声を聞き「子どもにとっていちばんいいこと」を一緒に考えて考える場所を設置する。	子どもオンブズパーソン(仮称)の設置(設置後の実施状況も含む)	検討	検討	準備	実施	継続	継続	結果の説明 及び 次年度に向けての 課題、検討内容 【相談・救済】 令和4年9月に相談事業を開始し、令和6年度は開設から3年目にあたる。新規相談件数48件。子どもが初回から直接相談に来るケースが半数以上(26件)を占め、その他初回が大人の相談についても、子ども自身から話を聞く活動を心掛け、最終的に全体の約7割(34件)の子どもたちから直接話を聞くことができた。総活動回数は231件。 【普及啓発】 その他相談室の周知及び子どもの権利の普及啓発活動を実施。令和6年度は市立小学校全校の6年生を対象に「子どもの権利学習」を実施した。(986人) 【課題】 「子どもの権利」及び「子どもオンブズパーソン」の認知度及び安定的な運用が課題。市内小中高生については、広報誌等を配布し定期的に周知啓発活動を行っているが、未就学児とその世帯及び子どもとかわりのない世帯に対する周知啓発活動が課題となる。認知度向上のための継続的な周知啓発活動に加えて、周知が行き届きていない市民への啓発策を検討する。また、安定的な運用のため、相談・調査専門員の質向上研修なども引き続き行っていく。	子ども・子育て会議意見
										虐待相談件数(件)2,744件 ケース検討会開催回数(回)44回 虐待相談件数は前年度に比べ、引き続き大幅に増加した。こども家庭センター化したことで母子保健係との一層の連携が進み、母子保健事業を通じて気になる家庭を把握すること等により、庁内からの通告数が約1.4倍に増加した。また、学校への連携の呼びかけが浸透し、学校からの通告が約1.6倍増加した。不安定な世界情勢が続く中で、物価上昇や、先行き不透明な社会状況から子育てに対する不安や負担等に影響していると考えられる。 なお、ケース検討会議開催回数は前年度に比べ増加したところではあるが、必要に応じて実施したところである。 先行き不透明な社会状況もあり、大人側の経済的、社会的な不安要素が解決できない難しさがある。引き続き、関係機関との連携を密に、役割分担のもと、早期発見・早期対応に努める。	子ども・子育て会議意見
2	虐待対応事業 (こども家庭センター) ＜重点事業＞	子どもを虐待から守るため、児童相談所や民生・児童委員、警察署、その他関係機関とのネットワークを強化し、関係改善が必要な親子へのサポートなどを行う。	虐待相談件数(件)	615	維持 1,091	維持 1,618	維持 1,480	維持 1,862	維持 2,744	結果の説明 及び 次年度に向けての 課題、検討内容	子ども・子育て会議意見
			ケース検討会開催回数(回)	73	漸増 45	漸増 53	漸増 52	漸増 42	漸増 44		

1-2. いじめ・虐待等の防止と早期発見を図ります

番号	事業名称 (担当課)	事業の内容	参考指標	実績	計画(年度)/実績(数値があるもののみ)					結果(年度)	
				H30	R2	R3	R4	R5	R6	R6	
1	虐待防止啓発事業 (こども家庭センター) ＜重点事業＞	子どもが相談できる窓口を周知するとともに、体罰などによらない子育てなどの相談を行う。また、要保護児童対策地域協議会での虐待防止マニュアルの活用や構成機関への巡回訪問を行う。	児童虐待防止キャンペーンの実施	実施	拡充	拡充	拡充	拡充	拡充	結果の説明 及び 次年度に向けての 課題、検討内容	要保護児童対策地域協議会構成機関(市内幼稚園、市内認可保育所、市立小・中学校等)への巡回訪問回数(機関数) 77機関/ 77機関 児童虐待防止キャンペーンについては、昨年度同様に市役所第二庁舎風除室スペースを活用し、啓発ポスター掲示やチラシ、リーフレットの配架、啓発グッズやこども家庭センター案内のポケットティッシュを配置し、また駅前での啓発グッズの配布を実施しており、多くの方に目にしていただき、リーフレット等手にとっていただくことができた。 巡回訪問では、学校等に子どもが相談できるようこども家庭センターを案内するグッズを配布した。関係機関を巡回訪問するとともに、児童虐待防止の啓発に努める。要保護児童対策地域協議会への理解・協力を働き掛け、児童福祉施設・学校等の連携を強化していく。
			要保護児童対策地域協議会構成機関への巡回訪問回数(機関数)	45	拡充 64	拡充 68	拡充 76	拡充 76	拡充 77		子ども・子育て会議意見
										子ども・子育て会議意見	

のびゆくこどもプラン 小金井(第2期小金井市子ども・子育て支援事業計画)事業進捗状況評価表3

目標3 子どもを生み育てる家庭を支援します
3-1.経済的負担を軽減します

番号	事業名称 (担当課)	事業の内容	参考指標	実績	計画(年度)/実績(数値があるもののみ)						結果(年度)	
				H30	R2	R3	R4	R5	R6	R6		
1	施設等利用給付の上乗せ (幼稚園) (保育課) ＜重点事業＞	私立幼稚園等に在籍する子どもの保護者の負担軽減をさらに図るため、上限額に上乗せして給付を行う。	受給者数(人)	18,063	維持 17,895	維持 18,639	維持 16,894	維持 14,839	維持 12,902	結果の説明 及び 次年度に向けての 課題、検討内容	・受給者数(人)：12,902 人 前年度と比べ、施設等利用給付の認定者が減少したことに伴い、上乗せ受給者数も減少した。 ・受給資格者における受給者数の割合(%)100 % 施設等利用給付認定を受けている児童の保護者全員に対し、負担軽減を実施することができた。	
			受給資格者における受給者数の割合(%)	100.0	維持 100.0	維持 100.0	維持 100.0	維持 100.0	維持 100.0			
			子ども・子育て会議意見									
2	施設等利用給付の上乗せ (認可外保育施設) (保育課) ＜重点事業＞	一定の基準を満たす認可外保育施設に在籍する子どもの保護者の負担軽減をさらに図るため、上限額に上乗せして給付を行う。	受給者数(人)	2,984	維持 2,941	維持 3,052	維持 2,731	維持 2,799	維持 2,672	結果の説明 及び 次年度に向けての 課題、検討内容	・受給者数 2,672人(4月～3月分) ・受給資格者における受給者数の割合 100% ・受給資格者における受給者数の割合 受給資格者のうち、施設等利用給付の上乗せを受給しなかった者は、基本部分で保育料が無償化となったためであり、受給資格者全てに対し、負担軽減を実施することができた。 引き続き事業周知に努めるとともに、さらなる保護者負担軽減についても検討する。	
			受給資格者における受給者数の割合(%)	100.0	維持 100.0	維持 100.0	維持 100.0	維持 100.0	維持 100.0			
			子ども・子育て会議意見									
4	義務教育就学児医療費助成制度の拡充 (子育て支援課) ＜重点事業＞	病気やけがにより、健康保険が適用される医療行為や薬剤提供を市内在住の小中学生が受けた場合に、自己負担すべき額から通院一回あたり200円を控除した額を助成する。	所得制限の段階的廃止の進捗状況	検討	準備	拡充 (小学校4年生～6年生)	準備	拡充 (中学校1年生～3年生)	維持	結果の説明 及び 次年度に向けての 課題、検討内容	令和5年10月に中学生の所得制限を廃止し、同時に令和5年4月から開始した高校生年代の医療費助成の所得制限も廃止したため、高校生年代以下については、保護者の所得に関係なく医療費助成を受けられるようになった。	
										子ども・子育て会議意見		

のびゆくこどもプラン 小金井(第2期小金井市子ども・子育て支援事業計画)事業進捗状況評価表3

3-2.母子保健事業を充実します

番号	事業名称 (担当課)	事業の内容	参考指標	実績	計画(年度)/実績(数値があるもののみ)						結果(年度)	
				H30	R2	R3	R4	R5	R6	R6		
1	母子保健健康相談事業 ①乳幼児保健相談 ②乳幼児健康相談 ③出張健康相談 (こども家庭センター) ＜重点事業＞	育児不安の解消を図るため、保健師等に気軽に相談できる場を確保し、育児支援を行う。	乳幼児健康相談利用者数(人)	914	漸増 253	漸増 286	漸増 270	漸増 438	漸増 612	結果の説明 及び 次年度に向けての 課題、検討内容	乳幼児健康相談利用者数(人) 612 人 出張健康相談利用者数(人) 811 人 コロナ流行中、予約制で実施してきたものを、R5年度から予約制をなくし、自由来所で実施。利用者数はコロナ禍以前の相談状況に戻りつつある。 出張所健康相談は、5か所から6か所となったが、利用可能となった1か所はR6年度、施設側の都合で、年3回のみの開催となってしまった。	
			出張健康相談利用者数(人)	1,107	漸増 345	漸増 232	漸増 450	漸増 829	漸増 811			
			子ども・子育て会議意見									
11	産後ケア事業 (こども家庭センター) ＜重点事業＞	出産直後の母子に対して心身のケアや育児サポート等を行い、産後も安心して子育てができる支援体制を確保する。	産後ケア事業延べ利用者数(人)	—	実施 31	漸増 129	漸増 181	漸増 482	漸増 503	結果の説明 及び 次年度に向けての 課題、検討内容	産後ケア利用実績 日帰り利用者延べ数: 534人(前年比 125 %) 宿泊利用者延べ数: 134人(前年比 167 %) (R6年度より宿泊可能施設増加) 宿泊型については、受入施設が増えたことにより利用者が増えている。日帰り型についても、利用者からの評価も高く、利用が増えた。 次年度も引き続き、心身のケア、育児サポート等を行っていくため、サービスの充実を図りつつ、利用施設の拡充を検討していく。	
										子ども・子育て会議意見		

のびゆくこどもプラン 小金井(第2期小金井市子ども・子育て支援事業計画)事業進捗状況評価表3

12	子育て中の保護者グループ相談 (こども家庭センター) ＜重点事業＞	育児に強い不安や困難を感じている保護者を対象に、子育てや自分についての思いを話したり、必要な情報や支援を見つける場を関係機関と連携し、提供する。また、育児に関する日ごろの悩み相談や保護者同士の交流を必要とする保護者の継続支援を行う。	育児不安親支援事業延べ参加人数(人)	15	漸増 28	漸増 26	漸増 26	漸増 27	漸増 25	結果の説明 及び 次年度に向けての 課題、検討内容	育児不安親支援事業延べ参加人数(人) 25人 お母さんグループ延べ参加人数(人) 12人 育児不安親支援事業については、前年度に引き続き定着した参加者で実施できた。不安に思うことを話す場への参加ニーズはあり、不安軽減の場になっている。 今後は新たに支援の手を広げるため、こども家庭センター設置による母子保健事業との連携の中で本事業の周知を進めるなどの工夫を行っていきたい。 お母さんグループについては、利用状況に鑑み回数を縮小した。子どもと離れ、同じ立場の大人同士で交流できる機会が参加者のよりどころとなっている。 グループ活動が、大人同士の交流を通し、育児に関する不安や負担の軽減につながっているため、引き続き実施をしていく。
			お母さんグループ延べ参加人数(人)	127	漸増 61	漸増 43	漸増 17	漸増 17	漸増 12		
										子ども・子育て会議意見	

3-3.子育てに関する相談・支援、情報提供、学習機会を充実させ、支援を強めます

番号	事業名称 (担当課)	事業の内容	参考指標	実績	計画(年度)/実績(数値があるもののみ)						結果(年度)	
				H30	R2	R3	R4	R5	R6		R6	
1	子育て情報の提供 (子育て支援課) ＜重点事業＞	市報、ホームページ、子育てに関する総合冊子を活用するほか、民間の子育て支援サイト「のびのびーの！」と連携し、子育て情報の提供を行う。	市報、ホームページ、子育てに関する総合冊子を活用した情報提供	実施	継続	継続	継続	継続	継続	結果の説明 及び 次年度に向けての 課題、検討内容	「みんなで子育て応援ブック のびのびこがねいっ子2024」を発刊し、子育てに関する情報提供を行った。 また、小金井子育て・子育て支援ネットワーク協議会による、子どもが今の自分の気持ちでいたいところを検索できる子どもの居場所サイト「えにえに」の情報サイトの拡充に当たって協力し、その広報に努めた。	
			子育て支援サイト「のびのびーの！」との連携	実施	継続	継続	継続	継続	継続			
										子ども・子育て会議意見		
2	子育て総合相談 (こども家庭センター) ＜重点事業＞	こども家庭センターを窓口とした、子どもや子育てに関する総合相談、情報提供。関係機関と連携し、他の支援機関や子育て支援ネットワークづくりに繋げる。	相談件数(件)	3,087	漸増 4,414	漸増 5,429	漸増 5,452	漸増 6,013	漸増 7,248	結果の説明 及び 次年度に向けての 課題、検討内容	総合相談延件数(件) 7,248件 前年度に比べて増加している。 年齢別相談対応者においては前年度と同様に、未就学児の年齢層で増加している。 いつでもだれでもが相談できる窓口としての周知を促進し、子育ての悩みや不安の軽減の場、子どもが相談できる場になるよう、丁寧な対応と必要時の関係機関連携を推進していく。	
										子ども・子育て会議意見		

4-1.ひとり親家庭を支援します

4-2. 特別な配慮が必要な子ども(障がい児等)と家庭を支援します

番号	事業名称 (担当課)	事業の内容	参考指標	実績	計画(年度)/実績(数値があるもののみ)						結果(年度)	
				H30	R2	R3	R4	R5	R6	R6		
1	認可保育所での特別支援保育 (保育課) ＜重点事業＞	公立保育所および民間保育所の全園で、可能な限り特別な配慮が必要な児童(医療的ケア児を含む)の保育を行う。	公立保育園の障がい児入所人数(人)	13	漸増 27	漸増 30	漸増 23	漸増 33	漸増 31	結果の説明 及び 次年度に向けての 課題、検討内容	公立保育園の障がい児入所人数(31 人)	

のびゆくこどもプラン 小金井(第2期小金井市子ども・子育て支援事業計画)事業進捗状況評価表3

[illegible]

目標6 地域の子育て環境を整えます

6-1.地域の子育てネットワークを整備します

番号	事業名称 (担当課)	事業の内容	参考指標	実績	計画(年度)/実績(数値があるもののみ)						結果(年度)	
				H30	R2	R3	R4	R5	R6	R6		
1	子育て支援ネットワーク (子育て支援課) ＜重点事業＞	保育所、幼稚園、子育てサークル、NPOなどの子育て支援団体との協働によるネットワークづくり、相互援助と情報発信を行う。	子育て・子育て支援ネットワーク協議会参加団体数(団体)	68	漸増 94	漸増 100	漸増 108	漸増 119	漸増 116	結果の説明 及び 次年度に向けての 課題、検討内容	子育て・子育て支援ネットワーク協議会参加団体数(団体)116団体 小金井子育て・子育て支援ネットワーク協議会については、様々な機会に積極的に呼びかけを行うことにより、新規加入団体を増やしてきた。なお、ネットワーク協議会の関連事業については、市職員も積極的に参加し、相互理解に努めるようにした。また、各団体の活動・取組状況については、子育てメッセこがねいや小金井子育て・子育て支援サイト等から把握に努めたところである。 次年度においても、小金井子育て・子育て支援ネットワーク協議会が安定的、継続的な活動を行えるよう、引き続き補助金を交付する。また、市内の団体加入促進を始め、活動の広報等支援を行っていく。	
											子ども・子育て会議意見	

6-3.地域の公共施設の活用を進めます

番号	事業名称 (担当課)	事業の内容	参考指標	実績	計画(年度)/実績(数値があるもののみ)					結果(年度)	
				H30	R2	R3	R4	R5	R6	R6	
1	子育てに配慮した公共施設の改善 (子育て支援課) ＜重点事業＞	子連れで外出しやすいよう公共施設の環境を整備する。市の施設については、おむつ替え、授乳スペースを設置する等、子育てに配慮する。	赤ちゃん休憩室事業の実施	実施	継続	継続	継続	継続	継続	結果の説明 及び 次年度に向けての 課題、検討内容	移動式赤ちゃん休憩室貸出件数(件) 4件 市ホームページの掲載に加え、市報やX及びLINEでの広報に努めたものの、貸出件数は伸びなかった。 引き続き周知に努め、機会に応じて貸し出し、事業の実施を継続する。
			移動式赤ちゃん休憩室貸出件数(件)	9	漸増 0	漸増 0	漸増 2	漸増 3	漸増 4		

のびゆくこどもプラン 小金井(第2期小金井市子ども・子育て支援事業計画)事業進捗状況評価表3

目標1 子どもの安心・安全を守ります

1-1. 子どもの権利を守るための相談及び救済窓口を充実します

番号	事業名称 (担当課)	事業の内容	参考指標	実績	上段:計画(年度)/実績(数値があるもののみ) 下段:結果					結果(年度)	
				H30	R2	R3	R4	R5	R6	R6	
3	スクールカウンセラー の配置 (指導室)	悩みなどを気楽に話し、心にゆとりを持てるような環境を提供するために、各小中学校にスクールカウンセラーを配置する。必要に応じ他機関と連携を図る。	相談回数(回)	11,228	維持 14,036	維持 12,500	維持 13,430	維持 12,570	維持 12,922	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
										相談回数(12,922 回) 予定どおりにいかなかった理由及び次年度に向けての課題、検討内容	
4	スクールソーシャル ワーカーの派遣 (指導室)	いじめ、不登校や虐待が疑われる児童・生徒及び問題行動傾向のある児童・生徒等への指導充実を図るため、専門的な資格を持つスクールソーシャルワーカーを派遣し、家庭や関係機関との連絡調整を行う。	相談件数(件)	86	維持 183	維持 366	維持 313	維持 328	維持 362	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
			訪問回数(回)	737	維持 926	維持 815	維持 581	維持 721	維持 906	相談件数(362 件) 訪問回数(906 回) 予定どおりにいかなかった理由及び次年度に向けての課題、検討内容	
5	教育相談事業 (指導室)	専門相談員による教育相談を実施し、各校の教育相談担当教諭や他機関と連携しながら、子どもが抱える様々な問題に対応する。また、子ども自身が電話やインターネットで相談できる体制を作る。	相談件数(件)	1,390	維持 1,752	維持 2,114	維持 1,887	維持 1,951	維持 1,606	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
										相談件数(1,606件) 予定どおりにいかなかった理由及び次年度に向けての課題、検討内容	
6	子ども(子育て総合) 相談 (こども家庭センター)	子どもの相談に応じ、必要に応じて関係機関と連携し、子育てのサポートなどを行う。	こども家庭センターでの小学生以上の相談延べ件数(件)	1,507	漸増 2,181	漸増 2,803	漸増 2,819	漸増 2,895	漸増 3,476	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
										こども家庭センターでの小学生以上の相談延べ件数 3,476件 予定どおりにいかなかった理由及び次年度に向けての課題、検討内容	
7	思春期相談 (児童青少年課)	思春期の子どもからの相談に応じ、関係機関と連携を取りながら支援へつなげていく。	東児童館での思春期相談件数(件)	19	維持 21	維持 26	維持 28	維持 33	維持 29	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
										東児童館での思春期相談件数(件) 29件 予定どおりにいかなかった理由及び次年度に向けての課題、検討内容	

のびゆくこどもプラン 小金井(第2期小金井市子ども・子育て支援事業計画)事業進捗状況評価表3

1-2. いじめ・虐待等の防止と早期発見を図ります

番号	事業名称 (担当課)	事業の内容	参考指標	実績	計画(年度)/実績(数値があるもののみ)					結果(年度)	
				H30	R2	R3	R4	R5	R6	R6	
2	いじめ等の対策システム (指導室)	いじめや虐待、非行など何か問題に遭遇した子どもを早期に発見し、保護者を支援しながらその原因を取り除き、楽しく学校に通えるようなシステムを作る。また、いじめ等が起こらないような教育や環境づくりを行うために、地域ぐるみの支援ネットワークで支える。	学校、家庭、地域が連携しいじめの防止等の活動の実施	実施	継続	継続	継続	継続	継続	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
			いじめ等の状況についての実態調査の実施	実施	継続	継続	継続	継続	継続	予定どおりにいかなかった理由及び次年度に向けての課題、検討内容	
			健全育成推進協議会で子どもの健全育成についての意見交換の実施	実施	継続	継続	継続	継続	継続		
	同(地域福祉課)		民生・児童委員による学校訪問事業での訪問学校数(校)	14	維持中止	維持中止	維持短縮実施	維持14	維持14	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
										民生・児童委員による学校訪問事業での訪問学校数(14校) 予定どおりにいかなかった理由及び次年度に向けての課題、検討内容	
	同(こども家庭センター)		要保護児童対策地域協議会での情報交換と支援	実施	拡充	拡充	拡充	拡充	拡充	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
予定どおりにいかなかった理由及び次年度に向けての課題、検討内容											
3	いじめ防止条例の制定 (指導室)	いじめの防止、いじめの早期発見・早期対応のための対策を総合的に推進するための条例を制定する。	いじめ防止条例の制定	検討	策定	周知	継続	継続	継続	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
										予定どおりにいかなかった理由及び次年度に向けての課題、検討内容	

のびゆくこどもプラン 小金井(第2期小金井市子ども・子育て支援事業計画)事業進捗状況評価表3

1-3. 犯罪等から子どもを守る環境をつくります

番号	事業名称 (担当課)	事業の内容	参考指標	実績	計画(年度)/実績(数値があるもののみ)					結果(年度)	
				H30	R2	R3	R4	R5	R6	R6	
1	子どもを犯罪から守る 防犯対策 (地域安全課)	ボランティアによる市内パトロールなど、子どもが安心して過ごせるまちづくりを行う。学校、保育所や学童保育所などで防犯対策に努める。	パトロール実施回数 (回)	472	維持 351	維持 373	維持 402	維持 203	維持 202	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
			こがねい安全・安心 メール配信件数(件)	37	維持 50	維持 145	維持 269	維持 341	維持 441	パトロール実施回数(202回) こがねい安全・安心メール配信件数(441件) 予定どおりにいかなかった理由及び次年度に向けての課題、検討内容	
	同(保育課)		不審者対応訓練実施 の保育園数(園)	12	漸増 13	漸増 19	漸増 16	漸増 21	漸増 44	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
			不審者対応訓練実施園 民間保育園 39 園 公立保育園 5 園								
	同(学務課)		小学校通学路への防 犯カメラの設置台数 (台)	43	漸増 11	漸増 56	漸増 56	漸増 62	漸増 68	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
			小学校通学路への防犯カメラの設置台数(台) 68台 予定どおりにいかなかった理由及び次年度に向けての課題、検討内容								
	同(児童青少年課)		児童館及び学童保育 所において訓練・研修 会等を実施	実施	継続	継続	継続	継続	継続	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
			予定どおりにいかなかった理由及び次年度に向けての課題、検討内容								
2	子どもを見守る家(カンガルーのポケット) (指導室)	登下校時の不審者に対する一時的緊急避難所として「子どもを見守る家」の設置を促進する。	登録件数(件)	1,157	維持 1,075	維持 1,011	維持 1,034	維持 1,016	維持 896	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
			登録件数(896件) 予定どおりにいかなかった理由及び次年度に向けての課題、検討内容								
3	セーフティー教室 (指導室)	薬物、インターネットを利用する際に起きる被害、加害、不審者対策等について学び、危険回避・犯罪防止等の能力を育成する。	セーフティー教室、薬物乱用防止教室、情報モラル教育の実施	実施	継続	継続	継続	継続	継続	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
			予定どおりにいかなかった理由及び次年度に向けての課題、検討内容								

のびゆくこどもプラン 小金井(第2期小金井市子ども・子育て支援事業計画)事業進捗状況評価表3

1-4. 普及啓発を推進し、子どもの権利がいかされる社会環境づくりを進めます

番号	事業名称 (担当課)	事業の内容	参考指標	実績	計画(年度)/実績(数値があるもののみ)					結果(年度)	
				H30	R2	R3	R4	R5	R6	R6	
2	子どもの権利の職員 への啓発活動 (児童青少年課)	手引きや職員研修等による子どもにかかわる職員への啓発・周知を行う。	職員研修の実施	実施	継続	継続	継続	継続	継続	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
										予定どおりにいかなかった理由及び次年度に向けての課題、検討内容	
3	人権教育の推進 (指導室)	各小中学校で人権教育教材(人権教育プログラム等)を活用し、各教科・総合的な学習の時間等すべての教育活動において人権教育の推進を図る。各小中学校から人権教育推進委員を選出し、市で年3回の研修を行う。	小中学校における人権教育の実施	実施	継続	継続	継続	継続	継続	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
										予定どおりにいかなかった理由及び次年度に向けての課題、検討内容	
4	子どもの権利の地域 における学習支援 (公民館)	子どもの人権講座や出前講座など、市民の学習会の支援を行う。	子どもの人権講座への延参加者数(人)	150	維持 76	維持 64	維持 128	維持 100	維持 103	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
										子どもの人権講座への延参加者数(103人) 予定どおりにいかなかった理由及び次年度に向けての課題、検討内容	

目標2 子どものゆたかな体験と仲間づくりを支えます
2-1.子どもの意思を尊重し、社会参加できる機会を提供します

のびゆくこどもプラン 小金井(第2期小金井市子ども・子育て支援事業計画)事業進捗状況評価表3

2-2.子どもの体験活動を応援します

番号	事業名称 (担当課)	事業の内容	参考指標	実績	計画(年度)/実績(数値があるもののみ)					結果(年度)	
				H30	R2	R3	R4	R5	R6	R6	
1	子どもの体験事業 (公民館)	公園や市施設において「子ども体験講座」などを行う。 ※対象学年…講座による	子ども体験講座延べ参加人数(人)	146	維持 59	維持 66	維持 68	維持 78	維持 63	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
										子ども体験講座延べ参加人数(63人) 予定どおりにいかなかった理由及び次年度に向けての課題、検討内容	
	同(生涯学習課)	※対象学年…小学3年生から中学3年生	清里山荘自然体験教室参加人数(人)	61	維持 中止	維持 70	維持 88	維持 67	維持 106	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
										清里山荘自然体験教室参加人数(人) 106人 予定どおりにいかなかった理由及び次年度に向けての課題、検討内容	
	同(経済課・農業委員会)	※対象学年…小学校による	学童収穫体験事業参加児童数(人)	1,713	維持 1,690	維持 1,763	維持 1,915	維持 1,822	維持 1,693	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
										学童収穫体験事業参加児童数(人)1,693人 予定どおりにいかなかった理由及び次年度に向けての課題、検討内容	
	同(児童青少年課)	※対象学年…小学1年生から小学6年生	わんぱく団活動参加人数(人)	76	維持 中止	維持 中止	維持 30	維持 60	維持 69	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
			わんぱく号参加人数(人)	351	維持 210	維持 291	維持 277	維持 311	維持 497	わんぱく団活動参加人数(人) 69人 わんぱく号参加人数(人) 497人 予定どおりにいかなかった理由及び次年度に向けての課題、検討内容	
2	各種スポーツ事業 (生涯学習課)	親や指導員も参加し、子どもとの交流を図れるよう「少年少女野球教室」「ジュニアサッカーフェスティバル」「親子体操教室」などを実施する。体育協会との連携により、少年少女スポーツ団体に対し、財政的支援を行う。	小・中学生の1日図書館員・職場体験学習者数(人)	19	維持 5	維持 12	維持 46	維持 51	維持 65	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
			少年少女野球教室、ジュニアサッカーフェスティバル、親子体操教室、水泳教室などの延べ参加者数(人)	458	維持 119	維持 216	維持 264	維持 265	維持 328	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
			上記以外の新規プログラムの実施	検討	検討	検討	検討	検討	検討	少年少女野球教室、ジュニアサッカーフェスティバル、水泳教室などの延べ参加者数(人) 328人 予定どおりにいかなかった理由及び次年度に向けての課題、検討内容	

のびゆくこどもプラン 小金井(第2期小金井市子ども・子育て支援事業計画)事業進捗状況評価表3

3	図書館事業 (図書館)	子どもと本を結び付けるために、おはなし会や各種行事を開催する。(おはなし会・おたのしみ会・工作会)	おはなし会参加人数 (人)	1,493	維持 117	維持 600	維持 1,194	維持 1,183	維持 1,239	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
			おたのしみ会参加人数 (人)	255	維持 102	維持 121	維持 125	維持 112	維持 131	おはなし会参加人数(人) 1,239人 おたのしみ会参加人数(人) 131人 夏休み工作会参加人数(人) 58人 予定どおりにいかなかった理由及び次年度に向けての課題、検討内容	
			夏休み工作会参加人数 (人)	18	維持 37	維持 36	維持 26	維持 56	維持 58		
4	はけの森美術館教育 普及活動 (コミュニティ文化課)	はけの森美術館の展覧会の開催にかかる関連企画及び教育普及活動としてのワークショップ、鑑賞教室、学校への出前授業などを通し、子どもが美術を中心とする芸術活動に出会い、体験し、ゆたかな感性を育むことに努める。	ワークショップ、鑑賞教室、学校への出前授業等の延べ実施回数 (回)	27	維持 中止	維持 11	維持 24	維持 24	維持 22	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
										ワークショップ、鑑賞教室、学校への出前授業等の延べ実施回数(回) 22回 令和6年度の出前授業については、令和5年度に引き続きワークシート形式での実施とした。また、鑑賞教室については小学校全校(9校)実施することができた。 その他、企画展関連ワークショップ等7回・ギャラリートーク2回、令和7年3月からの所蔵作品展ではギャラリーコンサートを1回・ワークショップ1回・ギャラリートーク2回実施。	

のびゆくこどもプラン 小金井(第2期小金井市子ども・子育て支援事業計画)事業進捗状況評価表3

2-3.子どもの居場所と交流の場を充実します

番号	事業名称 (担当課)	事業の内容	参考指標	実績	計画(年度)/実績(数値があるもののみ)					結果(年度)	
				H30	R2	R3	R4	R5	R6	R6	
3	冒険遊び場事業 (児童青少年課)	自然の中で子どもが自由な発想で自由に遊べる場(プレーパーク)を提供する。	プレーパーク来場者数(人)	19,390	漸増 5,434	漸増 10,678	漸増 11,944	漸増 15,629	漸増 15,628	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
										プレーパーク来場者数(人) 15,628人 予定どおりにいかなかった理由及び次年度に向けての課題、検討内容 前年度と比較して1人の減となったがほぼ横ばいの数字となった。実施(開催)回数が天候に左右されるところあり、R5年度の実施回数は208回、R6年度の実施回数は202回となっているため減となった。(1開催に対する来場者数はR5=75人、R6=77人と微増している。)	
4	校庭、公園等遊べる場の整備等 (環境政策課)	子どもから高齢者までの憩いの場・交流の場、青少年が安心して遊べる魅力ある場の確保と環境づくりを行う。	公園内の樹木や植栽の管理	実施	継続	継続	継続	継続	継続	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
			公園内遊具の点検・修理	実施	継続	継続	継続	継続	継続	予定どおりにいかなかった理由及び次年度に向けての課題、検討内容	
	同(生涯学習課)		遊び場開放延べ参加者数(人)	8,776	漸増 中止	漸増 中止	漸増 中止	漸増 854	漸増 3,135	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
			登録団体開放延べ参加者数(人)	55,294	漸増 23,873	漸増 38,223	漸増 44,151	漸増 54,246	漸増 48,646	遊び場開放延べ参加者数(人)3,135 人 登録団体開放延べ参加者数(人)48,646人 予定どおりにいかなかった理由及び次年度に向けての課題、検討内容	
5	子どもの公共施設の利用 (公民館)	公民館、体育館等、子どもだけでも利用できる公共施設の充実を図る。	子どもの公民館利用の促進	検討	実施	継続	継続	継続	継続	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
			予定どおりにいかなかった理由及び次年度に向けての課題、検討内容								
	同(生涯学習課)		総合体育館・栗山公園健康運動センターでの中学生以下の利用者数(人)	53,531	維持 13,864	維持 9,531	維持 27,425	維持 27,154	維持 26,519	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
										総合体育館・栗山公園健康運動センターでの中学生以下の利用者数(人) 26,519 人 予定どおりにいかなかった理由及び次年度に向けての課題、検討内容	
6	子ども食堂推進事業 (子育て支援課)	子ども食堂を運営する団体に対し、その経費の一部を補助することにより、地域の子どもたちに食事及び交流の場を提供する取組について、安定的な実施環境を整備し、地域に根差した活動を支援する。	補助支給団体数(団体)	—	3 5	漸増 2	漸増 4	漸増 4	漸増 7	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
										補助支給団体数(団体) 7団体 予定どおりにいかなかった理由及び次年度に向けての課題、検討内容	

のびゆくこどもプラン 小金井(第2期小金井市子ども・子育て支援事業計画)事業進捗状況評価表3

7	中高生の余暇活動支援 (児童青少年課)	中・高生世代の余暇活動を支援し、居場所と交流の場を提供する。	児童館夜間開館事業 延べ参加者数(人)	1,016	漸増 350	漸増 614	漸増 479	漸増 887	漸増 962	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
			バンド室利用延べ人数 (人)	446	漸増 142	漸増 187	漸増 174	漸増 220	漸増 193	児童館夜間開館事業延べ参加者数(人) 962人 バンド室利用延べ人数(人) 193人 予定どおりにいかなかった理由及び次年度に向けての課題、検討内容 令和6年度は夜間に中・高校生世代対象の事業を実施していなかった児童館で単発事業として取り組んだ。 バンド室利用人数については、前年度よく利用していたグループが中学3年生を迎えたこともあり、減少した。	
	同(公民館)		若者コーナー延べ参 加者数(人)	350	維持 3,076	維持 97	維持 148	維持 212	維持 168	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
			若者コーナー延べ参加者数(168人) 予定どおりにいかなかった理由及び次年度に向けての課題、検討内容								

のびゆくこどもプラン 小金井(第2期小金井市子ども・子育て支援事業計画)事業進捗状況評価表3

目標3 子どもを生み育てる家庭を支援します

3-1.経済的負担を軽減します

番号	事業名称 (担当課)	事業の内容	参考指標	実績	計画(年度)/実績(数値があるもののみ)					結果(年度)	
				H30	R2	R3	R4	R5	R6	R6	
3	保育所等における副食費の補助 (保育課)	保育所等在籍する子どもの保護者の経済的負担を軽減するため、副食費の補助を実施する。	受給者数(人)	—	実施 1,497	実施 1,743	実施 1,826	実施 1,843	実施 1,616	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
			受給資格者における受給者数の割合(%)	100.0	実施 100.0	実施 100.0	実施 100.0	実施 100.0	実施 100.0	受給者数(人)1,616人 受給資格者における受給者数の割合(%)100% ※ 認可保育所・認定こども園の保育部分(市外含む)に通う3-5歳の児童	
5	愛育手当 (子育て支援課)	公的補助のない保育園等類似施設に在籍している満3歳から満5歳まで(申請年度の4月1日現在)の幼児の保護者に手当を支給する。	受給者数(人)	67	維持 23	維持 18	維持 29	維持 14	維持 9	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
										受給者数(人) 9人 予定どおりにいかなかった理由及び次年度に向けての課題、検討内容	
6	小金井市奨学資金 (庶務課)	成績優秀であるにもかかわらず、経済的理由により修学が困難な高校生・大学生などに、修学上必要な学資金を援助する。	高校生等受給者数(人)	33	維持 28	維持 30	維持 30	維持 30	維持 27	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
			大学生等受給者数(人)	3	維持 3	維持 5	維持 5	維持 5	維持 5	高校生等受給者数(人) 27人 大学生等受給者数(人) 5人 予定どおりにいかなかった理由及び次年度に向けての課題、検討内容	
7	就学援助制度 (学務課)	経済的な理由により教育費(給食費、学用品費など)の支払いが困難な保護者に対して、教育費の一部を援助する。	小学生等受給者数(人)	374	維持 370	維持 418	維持 365	維持 368	維持 359	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
			中学生等受給者数(人)	207	維持 200	維持 212	維持 218	維持 247	維持 209	小学生等受給者数(人) 359人 中学生等受給者数(人) 209人 予定どおりにいかなかった理由及び次年度に向けての課題、検討内容	

のびゆくこどもプラン 小金井(第2期小金井市子ども・子育て支援事業計画)事業進捗状況評価表3

3-2.母子保健事業を充実します

番号	事業名称 (担当課)	事業の内容	参考指標	実績	計画(年度)/実績(数値があるもののみ)					結果(年度)			
				H30	R2	R3	R4	R5	R6	R6			
2	予防接種事業 (健康課)	各種予防接種に関する正しい知識の普及・啓発に努めるとともに、感染性の病気の発生やまん延を防ぐため、法令に基づき定期予防接種等を行う。	四種混合接種率(%)	102	漸増 99	漸増 100	漸増 94	漸増 105	漸増 32	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった		
			二種混合接種率(%)	66	漸増 71	漸増 68	漸増 60	漸増 72	漸増 76	四種混合接種率(32.0%) 麻しん風しん(第Ⅱ期)接種率(92.8%) BCG接種率(99.3%) 子宮頸がん接種率(53.6%) ロタ接種率(93.5%)		二種混合接種率(76.6%) 日本脳炎接種率(89.8%) ヒブ接種率(27.5%) 水痘接種率(93.3%) おたふくかぜ接種率(91.6%)	麻しん風しん(第Ⅰ期)接種率(99.8%) 不活化ポリオ接種率(0%) 小児用肺炎球菌接種率(98.1%) B型肝炎接種率(97.9%)
			麻しん風しん(第Ⅰ期)接種率(%)	98	漸増 98	漸増 89	漸増 96	漸増 94	漸増 99	予定どおりにいかなかった理由及び次年度に向けての課題、検討内容 ・令和6年度の4月より五種混合ワクチンの定期接種が開始され、四種混合ワクチンにヒブワクチンを合わせた五種混合ワクチンが接種できるようになった。それに伴い四種混合及びヒブワクチンの接種者数は大幅に減少をしたが、五種混合ワクチンの接種率(R6 70.1%)と合わせるとそれぞれ102.1%、97.6%となり、昨年度と変わらず高い接種率となっている。 ・その他の予防接種については、接種率が概ね90%を超えており、高い接種率となっている。			
			麻しん風しん(第Ⅱ期)接種率(%)	94	漸増 95	漸増 93	漸増 91	漸増 91	漸増 92				
			日本脳炎接種率(%)	108	漸増 98	漸増 62	漸増 107	漸増 90	漸増 89				
			不活化ポリオ接種率(%)	0	漸増 0	漸増 0	漸増 0	漸増 0	漸増 0				
			BCG接種率(%)	100	漸増 97	漸増 108	漸増 92	漸増 106	漸増 99				
			ヒブ接種率(%)	103	漸増 99	漸増 99	漸増 96	漸増 99	漸増 27				
			小児用肺炎球菌接種率(%)	103	漸増 97	漸増 99	漸増 96	漸増 99	漸増 98				
			子宮頸がん接種率(%)	0	漸増 8	漸増 37	漸増 44	漸増 58	漸増 53				
			水痘接種率(%)	95	漸増 101	漸増 87	漸増 89	漸増 88	漸増 93				
			B型肝炎接種率(%)	103	漸増 95	漸増 103	漸増 93	漸増 102	漸増 97				
			ロタ接種率(%)	—	漸増 56	漸増 100	漸増 93	漸増 100	漸増 93				
			おたふくかぜ接種率(%)	—	漸増 89	漸増 80	漸増 90	漸増 86	漸増 91				

のびゆくこどもプラン 小金井(第2期小金井市子ども・子育て支援事業計画)事業進捗状況評価表3

3	乳幼児健康診査 (こども家庭センター)	乳幼児の健康状態の確認、病気の早期発見、乳幼児の心身の健やかな成長と保護者の育児支援を図るため、健康診査(身体計測・医師の診察・相談等)を行う。また、必要に応じて経過観察健診などを行う。	3～4か月児健康診査受診率(%)	96	漸増 94	漸増 96	漸増 93	漸増 98	漸増 96	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
			6～7か月児健康診査受診率(%)	87	漸増 93	漸増 96	漸増 90	漸増 91	漸増 99	3～4か月児健康診査受診率(%) : 96% 6～7か月児健康診査受診率(%) : 99% 9～10か月児健康診査受診率(%) : 99% 1歳6か月児健康診査受診率(%) : 98% 3歳児健康診査受診率(%) : 96% (3～4か月児・1歳6か月児・3歳児の健康診査について保健センター内にて実施) (6～7か月児・9～10か月児健康については個別医療機関にて実施) 集団健診の実施率が若干減少しているが、未受診者については受診勧奨等を実施し、全員の状況把握に努めている。共働き世帯が増えたことや、未熟児、早産児の増加に伴い、集団健診ではなく個別健診や別日の経過観察健診に来所している児が多くなっている。 予定どおりにいかなかった理由及び次年度に向けての課題、検討内容	
			9～10か月児健康診査受診率(%)	87	漸増 93	漸増 95	漸増 93	漸増 91	漸増 99		
			1歳6か月児健康診査受診率(%)	97	漸増 97	漸増 97	漸増 96	漸増 96	漸増 98		
			3歳児健康診査受診率(%)	96	漸増 97	漸増 98	漸増 96	漸増 98	漸増 96		
4	乳幼児歯科保健指導 (こども家庭センター)	乳幼児のむし歯予防や、からだ全体の健康づくりの一環として、歯科保健指導、予防処置などを行う。	むし歯予防教室実施者数(人)	189	漸増 109	漸増 117	漸増 106	漸増 119	漸増 95	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
			歯科健診診査実施者数(人)	876	漸増 285	漸増 355	漸増 349	漸増 410	漸増 394	むし歯予防教室実施者数(95人) 歯科健診診査実施者数(394人) 歯科予防処置実施者数(167人) コロナ禍に乳幼児健康診査を個別化したことで、かかりつけ歯科医等につながったことや、出生数の減少・共働き世帯の増加により、利用者数が減少している。 予定どおりにいかなかった理由及び次年度に向けての課題、検討内容	
			歯科予防処置実施者数(人)	610	維持 135	維持 132	維持 144	維持 175	維持 167		
5	新生児等聴覚検査 (こども家庭センター)	新生児期に聴覚検査を行い、早期に聴覚障がいを発見して適切な支援につなげる。	新生児等聴覚受診者数(人)	310	漸増 829	漸増 767	漸増 679	漸増 715	漸増 713	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
										新生児等聴覚受診者数(713人) 予定どおりにいかなかった理由及び次年度に向けての課題、検討内容	

のびゆくこどもプラン 小金井(第2期小金井市子ども・子育て支援事業計画)事業進捗状況評価表3

6	両親学級 (こども家庭センター)	妊娠、出産、育児などに関し、必要な知識の普及や情報の提供、さらに親同士の交流や仲間づくりなど支援を行うため、妊婦とそのパートナーを対象とした教室・乳幼児と保護者を対象とした教室を開催する。	平日コース参加者延べ人数(人)	190	維持 32	維持 52	維持 95	維持 67	維持 78	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
			土曜日コース参加者延べ人数(人)	661	維持 235	維持 100	維持 109	維持 490	維持 499	平日コース参加者延べ人数(78人) 土曜日コース参加者延べ人数(499人) 予定どおりにいかなかった理由及び次年度に向けての課題、検討内容	
7	栄養個別相談・栄養集団指導 (こども家庭センター)	離乳食やアレルギー食、食生活等の子どもの成長に関する食の悩みについて、栄養士との相談の場を提供する。また、食に興味を持ち、つくる楽しさ、食べる楽しさを意識してもらうため、親子でつくれる料理の紹介をする。	栄養個別相談利用者延数(人)	1,029	維持 373	維持 470	維持 837	維持 900	維持 749	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
			栄養集団指導参加者延数(人)	3,037	維持 252	維持 781	維持 646	維持 1,230	維持 1,352	栄養個別相談利用者延数(749人) 栄養集団指導参加者延数(1,352人) 予定どおりにいかなかった理由及び次年度に向けての課題、検討内容	
8	子どもへの食育の推進 (こども家庭センター)		マタニティクッキング参加者数(人)	42	維持 0	維持 6	維持 6	維持 —	維持 —	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
			離乳食教室(2回食及び3回食)参加者数(人)	309	維持 137	維持 158	維持 174	維持 196	維持 208	マタニティークッキング参加者数(一人) 離乳食教室(2回食及び3回食)参加者数(208人) 乳幼児食育メール配信登録者数(1,403人) こどもクッキング参加者数(31人) 栄養講習会(親子クッキング教室)参加者数(9人) 離乳食教室完了食(40人) マタニティクッキングについては令和4年度はすべて土曜日開催にしたが、集客できなかった。両親学級の回数が多く平日、土曜日とも同じプログラムで栄養も行われていることから令和5年度に廃止し、その予算を電話相談の多い1歳前後を対象とした離乳食完了食の事業に振り替えた。 予定どおりにいかなかった理由及び次年度に向けての課題、検討内容	
			乳幼児食育メール配信登録者数(人)	763	維持 1,212	維持 2,189	維持 1,447	維持 1,397	維持 1,403		
			こどもクッキング参加者数(人)	63	維持 1	維持 26	維持 39	維持 44	維持 31		
			栄養講習会(親子クッキング教室)参加者数(人)	20	維持 0	維持 6	維持 12	維持 6	維持 9		
	同(保育課)	子どもの発達段階に応じた食に関する情報提供など、地域、学校、子ども関係機関、事業者など、幅広い分野において食育に	食育計画及び年間行事計画を作成し、食育事業を実施している保育園数(園)	20	漸増 5	漸増 19	漸増 17	漸増 23	漸増 44	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
										食育計画及び年間行事計画を作成し、食育事業を実施している保育園数(園) 公立5園、民間39 園 予定どおりにいかなかった理由及び次年度に向けての課題、検討内容	

のびゆくこどもプラン 小金井(第2期小金井市子ども・子育て支援事業計画)事業進捗状況評価表3

	同(児童青少年課)	関する取組を行う。また、食育推進会議や食育推進検討委員会を開催し、事業の円滑な推進を実施する。	食事や栄養をテーマにした子育て相談会参加人数(人)	376	維持 159	維持 152	維持 193	維持 154	維持 134	予定どおりに進んだ		予定どおりにいかなかった	
			乳幼児食事会参加人数(人)	1,937	維持 中止	維持 中止	維持 156	維持 530	維持 698	食事や栄養をテーマにした子育て相談会参加人数(人) 134人 乳幼児食事会参加人数(人) 698人 料理教室参加人数(人) 3,119人			
			料理教室参加人数(人)	4,119	維持 217	維持 430	維持 358	維持 2,195	維持 3,119	予定どおりにいかなかった理由及び次年度に向けての課題、検討内容 子育て相談会の参加人数は減少したものの、乳幼児食事会及び料理教室参加人数は増加している。事業自体は計画通り実施できており、引き続き参加者増のための取り組みを行う。			
	同(指導室)		食育年間指導計画を作成し、食育を推進している小中学校数(校)	14	維持 14	維持 14	維持 14	維持 14	維持 14	予定どおりに進んだ		予定どおりにいかなかった	
										食育年間指導計画を作成し、食育を推進している小中学校数(14校) 予定どおりにいかなかった理由及び次年度に向けての課題、検討内容			
	同(学務課)	地場野菜を献立に取り入れた給食を実施している小中学校数(校)	14	維持 14	維持 14	維持 14	維持 14	維持 14	維持 14	予定どおりに進んだ		予定どおりにいかなかった	
生徒及び保護者に食育の啓発をしている小中学校数(校)		14	維持 14	維持 14	維持 14	維持 14	維持 14	維持 14	地場野菜を献立に取り入れた給食を実施している小中学校数(14 校) 生徒及び保護者に食育の啓発をしている小中学校数(14 校) 予定どおりにいかなかった理由及び次年度に向けての課題、検討内容				
9	小児医療の充実(健康課)	小児救急医療を確保し、充実を図る。また、休日準夜間診療の体制を維持する。	365日24時間の小児医療救急体制の確保	実施	継続	継続	継続	継続	継続	予定どおりに進んだ		予定どおりにいかなかった	
										365日24時間小児救急医療体制の確保ができた。 全体診療科18,362件、うち小児科4,689件(25.5%) 予定どおりにいかなかった理由及び次年度に向けての課題、検討内容			
10	育児に困難を持つ家庭への支援(こども家庭センター)	未熟児、多胎児、病気を持つ子どもと保護者が、情報や手段が得られることで、育児の困難さを軽減できるように、家庭訪問などの継続的な個別相談や親子同士が交流できる場を提供する。	未熟児(病児を含む)、多胎児に対する新生児訪問実数(件)	14	維持 16	維持 22	維持 29	維持 25	維持 47	予定どおりに進んだ		予定どおりにいかなかった	
			乳児・幼児に対する保健師訪問実数(件)	54	維持 116	維持 175	維持 151	維持 160	維持 187				
			個別継続支援実施延べ数(件)	450	維持 428	維持 698	維持 629	維持 676	維持 498	未熟児に対する新生児訪問実数 20 件 多胎児に対する新生児訪問実数 14 件(児の数は 27 人) 乳児・幼児に対する保健師訪問実数 187件(未熟児・多胎児を含む) 個別継続支援実施延べ数(件) 498件 予定どおりにいかなかった理由及び次年度に向けての課題、検討内容			

のびゆくこどもプラン 小金井(第2期小金井市子ども・子育て支援事業計画)事業進捗状況評価表3

13	薬物乱用防止の普及啓発 (健康課)	地域の関係機関との連携や支援により、思春期の子どもに対する啓発を行う。	東京都薬物乱用防止小金井推進協議会が行う啓発事業の支援	実施	継続	継続	継続	継続	継続	予定どおりに進んだ	予定どおりにいなかった
										協議会委員の高齢化等の課題があるため、今後は従来の啓発事業以外に現体制で実行可能な啓発活動を検討する。 予定どおりにいなかった理由及び次年度に向けての課題、検討内容	

のびゆくこどもプラン 小金井(第2期小金井市子ども・子育て支援事業計画)事業進捗状況評価表3

3-3.子育てに関する相談・支援、情報提供、学習機会を充実させ、支援を強めます

番号	事業名称 (担当課)	事業の内容	参考指標	実績	計画(年度)/実績(数値があるもののみ)					結果(年度)	
				H30	R2	R3	R4	R5	R6	R6	
3	育児支援ヘルパー事業(こども家庭センター)	産前・産後の妊産婦を介助する方がいない家庭を対象に、ヘルパーを派遣し、母体保護及び子育ての負担軽減を図る。	育児支援ヘルパー派遣件数(件)	34	漸増41	漸増67	漸増66	漸増75	漸増83	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
			育児支援ヘルパー派遣時間数(時間)	523	漸増717	漸増1139.5	漸増994.0	漸増1,479.5	漸増1,107.5	育児支援ヘルパー派遣件数(件) 83件 育児支援ヘルパー派遣時間数(時間) 1,107.5時間 派遣時間数が減少しているものの、派遣件数は年々増加しており、より多くの支援を必要とする世帯に対し、負担軽減をかけることができた。 予定どおりにいかなかった理由及び次年度に向けての課題、検討内容	
4	子育て施設の地域支援事業(保育課)	保育所での電話相談や園庭開放、園行事への参加など地域の子育て支援を行う。また、学童保育所では空き時間を利用して子育てひろば事業を実施する。	相談園数(園)	36	漸増13	漸増13	漸増8	漸増12	漸増32	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
			園庭開放実施保育園数(園)	10	維持7	維持12	維持5	維持19	維持17	相談園数(園) 公立 5 園 民間 27 園 園庭開放実施保育園数(園) 公立 5 園 民間 12 園 予定どおりにいかなかった理由及び次年度に向けての課題、検討内容	
	同(児童青少年課)		子育てひろば事業(学童ひろば)の実施	実施	継続	継続	継続	継続	継続	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
										予定どおりにいかなかった理由及び次年度に向けての課題、検討内容	
5	民生委員・児童委員の活動(地域福祉課)	子どもや妊産婦、ひとり親家庭などの総合相談、利用できる制度や施設、サービスの紹介。判断、治療、処遇を必要とする問題については、関係機関との連携を図りながら速やかな対応を行う。	子ども関係相談・支援件数(件)	760	維持350	維持360	維持437	維持318	維持663	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
										子ども関係相談・支援件数(件) 663件 予定どおりにいかなかった理由及び次年度に向けての課題、検討内容	
6	子育ての仲間づくり事業(児童青少年課)	孤立化を防ぎ、仲間づくりを促進するため、親子のふれあい、親同士、子ども同士の交流を促進する。	幼児グループの実施	実施	継続	継続	継続	継続	継続	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
										予定どおりにいかなかった理由及び次年度に向けての課題、検討内容	
7	子育て講座の開催(生涯学習課)	妊娠、出産から思春期の家庭教育まで、ライフステージに応じた子育てなどに関する知識の普及や情報提供、保護者同士の交流や仲間づくりなどを行う。	思春期子育て講座の実施	実施	継続	継続	継続	継続	継続	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
			家庭教育学級の実施	実施	継続	継続	継続	継続	継続	予定どおりにいかなかった理由及び次年度に向けての課題、検討内容	

のびゆくこどもプラン 小金井(第2期小金井市子ども・子育て支援事業計画)事業進捗状況評価表3

3-4.子育てしやすい職場環境を目指して、情報提供と支援に取り組みます

番号	事業名称 (担当課)	事業の内容	参考指標	実績	計画(年度)/実績(数値があるもののみ)					結果(年度)	
				H30	R2	R3	R4	R5	R6	R6	
1	雇用・再就職にかかわる支援事業の広報(経済課)	子育てをしながら早期の就職を希望する方に、関係機関と連携し、パンフレット等を配布する。また、「こがねい仕事ネット」を通じ市内外の求人と就労に関する情報提供をする。	関係機関のパンフレット等の配布	実施	継続	継続	継続	継続	継続	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
			「こがねい仕事ネット」を通じての求人と就労に関する情報提供	実施	継続	継続	継続	継続	継続	予定どおりにいかなかった理由及び次年度に向けての課題、検討内容	
2	再就職の支援(経済課)	関係機関と連携し、就職相談会、面接会、セミナーを実施するとともに、パンフレット等各種労働情報の提供を行う。	就職相談会、面接会、セミナー参加者数(人(延べ))	290	漸増 184	漸増 170	漸増 147	漸増 288	漸増 269	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
										就職相談会、面接会、セミナー参加者数(人(延べ)) 269 人 予定どおりにいかなかった理由及び次年度に向けての課題、検討内容 ⇒セミナー・面接会の回数が令和5年度は5回・6回だったのに対して、令和6年度は3回・5回と減っていることもあり、参加者が微減したと思われる。引き続き、面接会・セミナー等を継続して実施する。	

のびゆくこどもプラン 小金井(第2期小金井市子ども・子育て支援事業計画)事業進捗状況評価表3

目標4 子育て、子育てに困難を抱える家庭を支援します

4-1.ひとり親家庭を支援します

番号	事業名称 (担当課)	事業の内容	参考指標	実績	計画(年度)/実績(数値があるもののみ)					結果(年度)	
				H30	R2	R3	R4	R5	R6	R6	
2	ひとり親家庭の相談事業 (子育て支援課)	母子・父子自立支援員を配置し、経済上や生活一般に関する相談や自立に必要な支援を行う。	相談件数(件)	5,425	維持 478	維持 474	維持 441	維持 456	維持 486	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
										相談件数(件) 486件 予定どおりにいかなかった理由及び次年度に向けての課題、検討内容	
3	母子生活支援施設への入所支援 (子育て支援課)	児童(18歳未満)の養育が十分にできない母子家庭に対し、経済的事情にかかわらず、母子生活支援施設への入所支援を行う。	必要とする世帯が利用できる相談支援体制の維持	実施	継続	継続	継続	継続	継続	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
										予定どおりにいかなかった理由及び次年度に向けての課題、検討内容	
4	ひとり親家庭を対象とした自立支援給付金支給事業 (子育て支援課)	ひとり親家庭の母又は父が就職する際に有利な資格の取得を推進するため、給付金を支給し経済的負担の軽減を図る。	母子及び父子家庭自立支援教育訓練給付金支給件数(件)	3	維持 3	維持 0	維持 0	維持 3	維持 1	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
			母子及び父子家庭高等職業訓練給付金支給件数(件)	3	維持 3	維持 2	維持 2	維持 2	維持 0	母子及び父子家庭自立支援教育訓練給付金支給件数(件) 1件 母子及び父子家庭高等職業訓練給付金支給件数(件) 0件 ひとり親家庭高等学校卒業程度試験合格支給給付金支給件数(件) 0件 予定どおりにいかなかった理由及び次年度に向けての課題、検討内容	
			ひとり親家庭高等学校卒業程度試験合格支給給付金支給件数(件)	0	漸増 1	漸増 0	漸増 0	漸増 0	漸増 0		

のびゆくこどもプラン 小金井(第2期小金井市子ども・子育て支援事業計画)事業進捗状況評価表3

4-2. 特別な配慮が必要な子ども(障がい児等)と家庭を支援します

番号	事業名称 (担当課)	事業の内容	参考指標	実績	計画(年度)/実績(数値があるもののみ)					結果(年度)	
				H30	R2	R3	R4	R5	R6	R6	
3	障がい児の緊急・一時預かり (自立生活支援課)	保護者の病気などで障がいのある子どもの一時的な預かりを必要とした場合、保育所や障がい者の施設で一時的に預かりを行う。	都型短期入所利用者数(障がい児のみ)(人)	34	維持30	維持93	維持42	維持26	継続0	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
			短期入所事業利用者数(人)	23	維持27	維持26	維持23	維持25	維持28	都型短期入所利用者数(障がい児のみ)(人) 0人 ※ 10月までは18歳未満の利用者はおらず、11月～3月に改修工事を行った関係で受入を中止していたが、令和7年4月以降は受入を再開している。 短期入所事業利用者数(人) 28人 日中一時支援事業利用者数(人) 3人 予定どおりにいかなかった理由及び次年度に向けての課題、検討内容	
			日中一時支援事業利用者数(人)	11	維持5	維持9	維持1	維持6	維持3		
4	障がいの早期発見(乳幼児健康診査) (こども家庭センター)	各種の乳幼児健康診査や保健相談等の中で障がいを早期発見し、その障がいにあった適切な支援につなげる。	経過観察健康診査延べ人数(人)	67	維持26	維持26	維持61	維持33	維持59	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
			発達健康診査延べ人数(人)	19	維持13	維持11	維持22	維持12	維持16	経過観察健康診査延べ人数(人):59人 発達健康診査延べ人数(人):16人 心理経過観察健康診査延べ人数(人):199人 予定どおりにいかなかった理由及び次年度に向けての課題、検討内容	
			心理経過観察健康診査延べ人数(人)	322	維持294	維持219	維持184	維持201	維持199		
5	児童育成手当(障害) (子育て支援課)	障がいのある20歳未満の子どものいる保護者等に手当を支給する。	障害手当対象児童数(人)	44	維持53	維持64	維持60	維持57	維持55	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
			障害・育成手当対象児童数(人)	10	維持11	維持10	維持15	維持11	維持10	障害手当対象児童数(人) 55人 障害・育成手当対象児童数(人) 10人 予定どおりにいかなかった理由及び次年度に向けての課題、検討内容	
6	小中学校特別支援学級 (指導室)	知的障がいや情緒障がい、難聴・言語障がい等のある子どものため、特別支援教育の環境整備を行う。	個々の障がいに応じた指導の実施のため 個別指導計画を作成した割合(%)	100	維持100	維持100	維持100	維持100	維持100	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
										個々の障がいに応じた指導の実施のため 個別指導計画を作成した割合(100%) 予定どおりにいかなかった理由及び次年度に向けての課題、検討内容	
7	児童発達支援センター事業 (自立生活支援課)	心身の発達に特別な配慮が必要な子どもとその家族に対して、ひとりひとりの子どもの特徴に沿った発達を支援するため、児童発達支援センター「きらり」で必要な相談、指導及び訓練等を実施する。また、子育て関係機関への巡回指導を実施する。	相談支援事業相談件数(件)	207	維持202	維持215	維持181	維持210	維持210	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
			親子通園事業利用者数(人)	36	維持25	維持41	維持28	維持28	維持33	相談支援事業相談件数(件) 210件 親子通園事業利用者数(人) 33人 外来訓練事業利用者数(人) 160人 子育て関係機関への巡回指導の実施 69回 予定どおりにいかなかった理由及び次年度に向けての課題、検討内容	
			外来訓練事業利用者数(人)	128	維持125	維持142	維持157	維持150	維持160		
			子育て関係機関への巡回指導の実施	検討	試行32	実施38	継続69	継続70	継続69		
8	医療的ケア児連絡調整体制整備事業 (自立生活支援課)	医療的ケア児が、その心身の状況に応じた適切な保健、医療、福祉その他の各関連分野の支援を受けられるよう、関連機関との連絡調整を行うための体制を整備する。	連絡調整会議の実施	検討	試行	試行	実施	継続	継続	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
										予定どおりにいかなかった理由及び次年度に向けての課題、検討内容	

のびゆくこどもプラン 小金井(第2期小金井市子ども・子育て支援事業計画)事業進捗状況評価表3

4-3.外国籍の子どもと家庭を支援します

番号	事業名称 (担当課)	事業の内容	参考指標	実績	計画(年度)/実績(数値があるもののみ)					結果(年度)	
				H30	R2	R3	R4	R5	R6	R6	
1	各国の言語による情報提供 (広報秘書課)	外国語によるガイドブック、ハンドブック等の作成や生活に関する情報の提供を行う。市や教育委員会などのホームページでも提供する。	「外国人ガイドブック」配布部数(部)	750	維持 578	維持 250	維持 173	維持 200	維持 264	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
	同(学務課)		編入学等について市ホームページ翻訳機能により外国語で情報提供	実施	継続	継続	継続	継続	継続	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
										市HPの翻訳機能による情報提供を実施するとともに、昨年度作成したガイドブックを窓口付近に配架し、必要に応じて活用した。	
										同(ごみ対策課)	ごみ・リサイクルカレンダーに外国語説明を掲載
	予定どおりにいかなかった理由及び次年度に向けての課題、検討内容										
2	外国籍の幼児の教育・保育施設等利用支援 (保育課)	外国籍の幼児が円滑に教育・保育施設等を利用できるよう、保護者及び教育・保育施設等に対し必要な支援を行う。	外国籍の幼児の利用支援の実施	実施	継続	継続	継続	継続	継続	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
										予定どおりにいかなかった理由及び次年度に向けての課題、検討内容	
3	日本語指導補助員の派遣業務 (指導室)	外国籍の児童・生徒に対して、日常生活および学習指導を円滑に営めるように日本語指導補助員を派遣する。	利用者数(人)	18	維持 13	維持 18	維持 16	維持 20	維持 30	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
										利用者数(30 人) 予定どおりにいかなかった理由及び次年度に向けての課題、検討内容	
4	外国人相談 (広報秘書課)	市内に住む外国人の相談や情報提供に関し、外国語を話せる相談員を配置する。	相談件数(件)	0	漸増 0	漸増 0	漸増 0	漸増 0	漸増 0	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
										相談件数(件):0件 予定どおりにいかなかった理由及び次年度に向けての課題、検討内容:外国人も他の市民と同様に窓口で相談を受け、案内・解決に至っているため、外国人相談として特段設ける必要がなかった。代替案や必要性等を総合的に検討し、事業継続の可否及びプラン記載の有無を判断する必要がある。	

のびゆくこどもプラン 小金井(第2期小金井市子ども・子育て支援事業計画)事業進捗状況評価表3

4-4.家庭での子育て、子育てが困難な場合にきめ細やかな支援をします

番号	事業名称 (担当課)	事業の内容	参考指標	実績	計画(年度)/実績(数値があるもののみ)					結果(年度)	
				H30	R2	R3	R4	R5	R6	R6	
1	見守りサポート事業 (こども家庭センター)	児童相談所と連携し、軽度の児童虐待が認められるが在宅での指導が適切と判断される家庭及び児童相談所が一時保護又は施設措置などを行った児童が家庭復帰した後の家庭への適切な支援を行う。	見守りサポート事業の実施	実施	継続	継続	継続	継続	継続	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
										予定どおりにいかなかった理由及び次年度に向けての課題、検討内容	
2	里親制度の紹介と周知 (こども家庭センター)	保護者がいないか、保護者がいても養育できない子どもを家庭的雰囲気の中で育てる制度。制度の周知を図る。	養育家庭体験発表会参加者数(人)	36	漸増 1	漸増 15	漸増 9	漸増 19	漸増 26	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
										養育家庭体験発表会参加者数 (26人) 予定どおりにいかなかった理由及び次年度に向けての課題、検討内容	

のびゆくこどもプラン 小金井(第2期小金井市子ども・子育て支援事業計画)事業進捗状況評価表3

目標5 地域の子育ち環境を整えます

5-1.子どもが安心して学べる環境をつくります

番号	事業名称 (担当課)	事業の内容	参考指標	実績	計画(年度)/実績(数値があるもののみ)					結果(年度)	
				H30	R2	R3	R4	R5	R6	R6	
1	適応指導教室運営事業(もくせい教室) (指導室)	不登校児童・生徒それぞれの状況に応じた支援を行うことで心の居場所とし、自分らしさを発見し、社会的に自立していくことを目指す。	入所人数(人)	40	維持 51	維持 105	維持 120	維持 139	維持 110	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
										入所人数(110人) 予定どおりにいかなかった理由及び次年度に向けての課題、検討内容	
2	学校図書館活動 (指導室)	小中学校図書館に学校図書館補助員を配置し、図書の整理、貸し出し、検索照会サービス、読書指導などを行うことにより学校図書館活動の充実を図る。	貸出数(冊) 小学校	186,023	維持 238,279	維持 261,378	維持 250,691	維持 236,437	維持 256,815	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
			貸出数(冊) 中学校	16,482	維持 13,094	維持 17,217	維持 17,717	維持 16,630	維持 16,246	貸出数(冊)小学校256,815冊 貸出数(冊)中学校16,246冊 予定どおりにいかなかった理由及び次年度に向けての課題、検討内容	
	同(図書館)		学級文庫貸出団体数 (団体)	103	維持 109	維持 122	維持 149	維持 127	維持 128	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
			調べ学習貸出団体数 (団体)	1	漸増 26	漸増 21	漸増 25	漸増 24	漸増 13	学級文庫貸出団体数(団体) 128団体 調べ学習貸出団体数(団体) 13団体 予定どおりにいかなかった理由及び次年度に向けての課題、検討内容 → 児童書の電子書籍の利用が増加しており、調べ学習の形態が変化したのではと思われる。	
3	国際性を育む教育 (指導室)	外国人英語指導員の配置による外国語教育、外国文化との交流、国際理解教育を行う。	実施時間数(1学級あたり概算)(時間) 小学校	18	継続	継続 18、35	継続 18、35	継続 18、35	継続 18、35	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
			実施時間数(1校あたり概算)(時間) 中学校	180	継続	継続	継続	継続	継続	実施時間数(1学級あたり概算)(時間)小学校 第3・4学年: 18 時間、第5・6学年: 35時間 実施時間数(1学級あたり概算)(時間)中学校 全学年 6時間 実施時間数(1学級あたり概算)(時間)特別支援学級 全学級 15時間 予定どおりにいかなかった理由及び次年度に向けての課題、検討内容	
			実施時間数(1学級あたり概算)(時間) 特別支援学級	6	継続	継続 15	継続 15	継続 15	継続 15		
4	特別支援教育 (指導室)	発達障がいがあり、集団生活に適応しにくい子どもが、在籍校や特別支援学級で適切な指導を受けることで、周りの子どもたちとの良好な関係が築けるよう支援する。	特別支援教育研修会 実施回数(回)	7	維持 4	維持 7	維持 5	維持 5	維持 6	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
			特別支援学級推進委員会 実施回数(回)	8	維持 8	維持 8	維持 8	維持 8	維持 8	特別支援教育研修会実施回数(6回) 特別支援学級推進委員会実施回数(8回) 予定どおりにいかなかった理由及び次年度に向けての課題、検討内容	
5	子どもの学習支援事業 (地域福祉課)	生活保護受給世帯を含む生活困窮世帯において、家庭状況等により支援が必要な子どもに対し、家庭訪問による学習支援を行う。	実施人数(人)	9	漸増 6	漸増 8	漸増 7	漸増 11	漸増 10	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
										実施人数 10人 予定どおりにいかなかった理由及び次年度に向けての課題、検討内容	

のびゆくこどもプラン 小金井(第2期小金井市子ども・子育て支援事業計画)事業進捗状況評価表3

5-2.子どもが地域の一員となるための学習と交流の場をつくります

番号	事業名称 (担当課)	事業の内容	参考指標	実績	計画(年度)/実績(数値があるもののみ)					結果(年度)	
				H30	R2	R3	R4	R5	R6	R6	
1	異年齢交流 (保育課)	小・中・高校生が乳幼児とのふれあいを通じて、社会体験学習と育児感覚を身につけたり、子どもが地域の大人と交流できる場を設ける。	職場体験受入園数(園)	16	漸増 8	漸増 11	漸増 8	漸増 18	漸増 27	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
			ボランティア受入園数(園)	15	漸増 8	漸増 11	漸増 8	漸増 15	漸増 27		
			世代交流イベント実施園数(園)	12	漸増 8	漸増 9	漸増 2	漸増 4	漸増 27	職場体験受入園数(園)27園 ボランティア受入園数(園)27園 世代交流イベント実施園数(園)27園 予定どおりにいかなかった理由及び次年度に向けての課題、検討内容	
	同(児童青少年課)		乳幼児とのふれあい事業での保育ボランティア参加者数(人)	19	維持 中止	維持 中止	維持 中止	維持 24	維持 15	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
			赤ちゃんとの異世代交流事業延べ参加者数(人)	19	維持 中止	維持 中止	維持 中止	維持 統合	維持 統合	乳幼児とのふれあい事業での保育ボランティア参加者数(人) 15人 赤ちゃんとの異世代交流事業延べ参加者数(人) 一人 (乳幼児とのふれあい事業に統合して計上) おもちゃ病院開設回数(回) 42回 予定どおりにいかなかった理由及び次年度に向けての課題、検討内容	
			おもちゃ病院開設回数(回)	32	維持 23	維持 31	維持 32	維持 38	維持 42	乳幼児とのふれあい事業については、コロナ禍前の状況と同じように事業を計画したが、結果として参加人数が少なかった。参加者増の取り組みを継続する。	
2	子どもが参加できる行事の促進 (児童青少年課)	子ども週間行事や市民まつり等を通じて、地域住民や各種団体の協力を得ながら、健全な遊びや学びの場を設け、子どもの創意工夫による地域活動を促進する。	子ども週間行事参加者数(人)	2,917	維持 中止	維持 中止	維持 1,164	維持 1,431	維持 2,058	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
			市民まつり参加者数(人)	2,882	維持 中止	維持 中止	維持 中止	維持 2,592	維持 休止	子ども週間行事参加者数(人) 2,058人 市民まつり参加者数(人) 一人 子ども関連行事の後援・共催等(件) 94 件 予定どおりにいかなかった理由及び次年度に向けての課題、検討内容 雨天のため子ども週間行事1地区が中止になった。 市民まつり自体が休止となり実施されなかった。	
	同(各課)		子ども関連行事の後援・共催等(件)	—	維持 25	維持 6	維持 102	維持 107	維持 94		
3	各種催し物における、中高生ボランティアの受入 (児童青少年課)	市民まつりや子ども週間行事などで中高生ボランティアの受入を実施する。	子ども週間行事受入者数(人)	177	維持 中止	維持 中止	維持 23	維持 55	維持 91	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
			市民まつりボランティア受入者数(人)	42	維持 中止	維持 中止	維持 中止	維持 26	維持 休止	子ども週間行事受入者数(人) 91人 市民まつりボランティア受入者数(人) 一人 予定どおりにいかなかった理由及び次年度に向けての課題、検討内容 市民まつり自体が休止となり実施されなかった。	
4	地域諸団体への活動支援 (児童青少年課)	青少年健全育成地区委員会や子ども会などの地域諸団体に対し、活動支援を行う。	補助金交付事業実施団体数(団体)	7	維持 7	維持 7	維持 7	維持 7	維持 7	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
										補助金交付事業実施団体数(団体) 7団体 予定どおりにいかなかった理由及び次年度に向けての課題、検討内容	

のびゆくこどもプラン 小金井(第2期小金井市子ども・子育て支援事業計画)事業進捗状況評価表3

5-3.子育て、子育てしやすい生活環境等を整備します

番号	事業名称 (担当課)	事業の内容	参考指標	実績	計画(年度)/実績(数値があるもののみ)					結果(年度)	
				H30	R2	R3	R4	R5	R6	R6	
1	ユニバーサルデザインのまちづくり (交通対策課)	ベビーカーや車イスがゆったりと 通ることができ、子どもが安全、 快適に生活できるまちづくりを行 うことによって、誰もがゆたかに 暮らし「心のバリアフリー」が実現 できるまちづくりを行う。	放置自転車の撤去台 数(台)	2,376	漸減 1,119	漸減 877	漸減 1,045	漸減 880	漸減 689	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
	同(自立生活支援課)		障がい特性の理解促 進研修参加者数(人)	9	漸増 中止	漸増 中止	漸増 36	漸増 42	漸増 37	放置自転車の撤去作業を実施、撤去台数689台、撤去回数202回 予定どおりにいかなかった理由及び次年度に向けての課題、検討内容	
	同(ごみ対策課)		路上喫煙マナーアップ キャンペーン実施回数 (回)	12	維持 9	維持 8	維持 10	維持 9	維持 7	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
	同(まちづくり推進課)		特定事業計画の進捗 状況の確認	実施	継続	継続	継続	継続	継続	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
										路上喫煙マナーアップキャンペーン実施回数(回) 7 回 予定どおりにいかなかった理由及び次年度に向けての課題、検討内容	
										予定どおりにいかなかった理由及び次年度に向けての課題、検討内容	
2	子どもにやさしい自然 環境の整備 (環境政策課)	市民に身近なみどりである公園 等や、国分寺崖線(はけ)のみど り、湧水などの自然環境の保全 のため、意識啓発を図るととも に、みどりを増やし、みどりゆた かで快適なまちづくりを行う。	公園等や国分寺崖線 (はけ)のみどりを活用 した環境イベントの実 施	—		実施	継続	継続	継続	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
			身近なみどりである公 園等や国分寺崖線(は け)のみどり、湧水な どの自然環境保全活動	実施	継続	継続	継続	継続	継続	予定どおりにいかなかった理由及び次年度に向けての課題、検討内容	
										予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
										予定どおりにいかなかった理由及び次年度に向けての課題、検討内容	
3	幹線道路の整備 (都市計画課)	すべての人々が安全で快適な生 活が営めるように、歩道空間や 道路の整備を行う。	市内都市計画道路整 備率(%)	47.7	漸増 47.7	漸増 47.7	漸増 48.7	漸増 48.8	漸増 48.8	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
										市内都市計画道路整備率 48.8 % 予定どおりにいかなかった理由及び次年度に向けての課題、検討内容 小金井都市計画道路3・4・8号線の用地取得等は令和6年度も進捗している。一方で、各路線の用地取得等については地権者の生活設計を尊重しながら個々に進捗している状況であり、まだ取得すべき物件が残っているため、道路の拡幅には至っていない。	

のびゆくこどもプラン 小金井(第2期小金井市子ども・子育て支援事業計画)事業進捗状況評価表3

4	子どもが通る道の安全確保 (交通対策課)	子どもが安全に過ごせるよう、学区域にとられず、通学路周辺の安全確保を行う。	市内小学校の通学路点検	実施	継続	継続	継続	継続	継続	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
										予定どおりにいかなかった理由及び次年度に向けての課題、検討内容	
	同(保育課)	幼稚園、保育所等の散歩コースの点検を行う。	市内幼稚園、保育所等の散歩コース点検	実施	継続	継続	継続	継続	継続	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
										予定どおりにいかなかった理由及び次年度に向けての課題、検討内容	
5	交通安全教育の推進 (交通対策課)	交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を推進し、交通事故防止を図る。	交通ルールの広報の実施	実施	継続	継続	継続	継続	継続	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
			自転車交通安全教育の実施	実施	継続	継続	継続	継続	継続	予定どおりにいかなかった理由及び次年度に向けての課題、検討内容	
	同(指導室)		全小中学校で交通安全教育を実施	実施	継続	継続	継続	継続	継続		

のびゆくこどもプラン 小金井(第2期小金井市子ども・子育て支援事業計画)事業進捗状況評価表3

5-4.地域の緑と環境を守ります

番号	事業名称 (担当課)	事業の内容	参考指標	実績	計画(年度)/実績(数値があるもののみ)					結果(年度)	
				H30	R2	R3	R4	R5	R6	R6	
1	環境問題の意識向上 や環境学習 (環境政策課)	普及啓発事業として環境フォーラムや環境施設見学会等、さまざまな環境イベントを開催する。	環境イベントの実施	実施	継続	継続	継続	継続	継続	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
										予定どおりにいかなかった理由及び次年度に向けての課題、検討内容	
2	発生抑制を最優先とした3R(発生抑制、再使用、再生利用)の推進に向けた啓発事業 (ごみ対策課)	3R推進に向けた広報媒体の作成、ごみ減量啓発キャンペーン及び出張講座などを行う。	ごみ減量キャンペーン 実施回数(回)	5	維持 中止	維持 中止	維持 中止	維持 中止	維持 中止	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
			小中学校、保育園等 への出張講座の実施	実施	継続	継続	継続	継続	継続	ごみ減量キャンペーン実施回数(0 回) 予定どおりにいかなかった理由及び次年度に向けての課題、検討内容 従前は、水切りネットを配布するなどのごみ減量キャンペーンを実施していたが、当該ネットはプラスチックごみの元となるため取りやめとした。 キャンペーンとは別に新施設「メタウォーターサステナブルパークこがねい」のオープンフェスティバルにおいて、子どもたちに対してごみ分別クイズやオリエンテーション、ミニゲームなどを行い、3Rの推進及びごみ減量啓発活動を実施した。	

のびゆくこどもプラン 小金井(第2期小金井市子ども・子育て支援事業計画)事業進捗状況評価表3

目標6 地域の子育て環境を整えます

6-1.地域の子育てネットワークを整備します

番号	事業名称 (担当課)	事業の内容	参考指標	実績	計画(年度)/実績(数値があるもののみ)					結果(年度)	
				H30	R2	R3	R4	R5	R6	R6	
2	子育てグループへの活動支援 (こども家庭センター)	市内の自主的な子育てグループなどのネットワーク化を図りながら、活動への支援を行う。	支援した自主グループ数と参加者数(団体数/人)	2団体 197	維持 2団体 75	維持 2団体 151	維持 2団体 173	維持 2団体 155	維持 2団体 145	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
										支援した自主グループ数: 2 グループ ・さくらんぼの会(多胎児家庭の自主グループ) 年 3 回 参加者数:親 25 人、子 29人 ・ひまわりママの会(発達に課題のある子どもを持つ親の会) 年 10回 参加者: 91人	
3	ボランティアセミナー (生涯学習課)	国分寺市、小平市、小金井市と東京学芸大学が連携し地域や学校等で活躍するボランティアを養成する講座。ボランティア活動スタートへのサポート、スキルアップを目指す。	ボランティアを養成する講座の延べ参加者数(人)	804	維持 640	維持 923	維持 491	維持 575	維持 537	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
										ボランティアを養成する講座の延べ参加者数(人)537人 予定どおりにいかなかった理由及び次年度に向けての課題、検討内容	

6-2.誰もが子育てと社会参加できる環境をつくり、ワーク・ライフ・バランスの実現を目指します

番号	事業名称 (担当課)	事業の内容	参考指標	実績	計画(年度)/実績(数値があるもののみ)					結果(年度)	
				H30	R2	R3	R4	R5	R6	R6	
1	人権尊重、男女平等の啓発、普及 (企画政策課)	人権尊重と男女平等の意識づくりの啓発、普及を行い、情報収集や相談およびDV等被害者支援などを行う。	こがねいバレット参加者数(人)	70	維持 57	維持 29	維持 26	維持 21	維持 38	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
			男女共同参画シンポジウム参加者数(人)	70	維持 中止	維持 中止	維持 24	維持 28	維持 10	こがねいバレット参加者数(38 人) 男女共同参画シンポジウム参加者数(10 人) 女性総合相談の相談者数(148件) 再就職支援講座参加者数(9人) 予定どおりにいかなかった理由及び次年度に向けての課題、検討内容 こがねいバレット参加者数及び女性総合相談の相談数は目標を超える結果となったが、男女共同参画シンポジウム参加者数及び再就職支援講座参加者数は事業周知方法もLINEやX等も活用するなど、広く市民に周知できるよう努めたが、当日キャンセル等も生じ、結果として前年度以下の結果となってしまった。引続き多くの市民が興味を持ち、参加頂けるような内容となるよう検討していきたい。	
			女性総合相談の相談者数(人)	136	維持 135	維持 108	維持 142	維持 149	維持 148		
			再就職支援講座参加者数(人)	28	維持 39	維持 46	維持 36	維持 16	維持 9		

6-3.地域の公共施設の活用を進めます

番号	事業名称 (担当課)	事業の内容	参考指標	実績	計画(年度)/実績(数値があるもののみ)					結果(年度)	
				H30	R2	R3	R4	R5	R6	R6	
2	小中学校のスポーツ開放 (生涯学習課)	地域住民のスポーツ、レクリエーションの場として、小中学校の体育施設を開放し、市民の健康増進を図る。	スポーツ開放校利用者数(人)	3,393	維持 396	維持 1,337	維持 3,392	維持 3,065	維持 3,825	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
			一中クラブハウス利用者数(人)	9,273	維持 2,302	維持 3,753	維持 6,290	維持 7,605	維持 7,566	スポーツ開放校利用者数(人)3, 825人 一中クラブハウス利用者数(人) 7, 566 人 南中テニスコート夜間開放利用者数(人)98 人 予定どおりにいかなかった理由及び次年度に向けての課題、検討内容	
			南中テニスコート夜間開放利用者数(人)	152	維持 153	維持 143	維持 156	維持 128	維持 98		